

大学番号 064

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

岡山大学 工学部 工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学
令和3年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	26
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	31
6. 附帯事項等に対する履行状況等	73
7. その他全般的事項	74

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

(2) 大学名

岡山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マキノ ヒロフミ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	(タカハシ カヨ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
学部長	(スガ セイジ) 菅誠治 (令和3年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 工学科 学士（工学）	工学関係	4年	610人	3年次 人 30	2500人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期													
A 入学定員	() []	610人 0人 [7人]	1.03倍	3年次編入学生については、改組後の工学部に編入学するのは令和5年度からとなる。											
志願者数	() []	1511 0 [11] [-]													
受験者数	() []	1274 0 [5] [-]													
合格者数	() []	646 0 [-] [-]													
B 入学者数	() []	633 0 [7] [-]													
入学定員超過率 B/A													1.03		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] [] () ()	633 [7] (-)	0 [-] (-)	3年次編入学生については、改組後の工学部に編入学するのは令和5年度からとなる。							
2年次	/		[] [] () ()	[] [] () ()							
3年次			/		/		[] [] () ()	[] [] () ()	[] [] () ()	[] [] () ()	
4年次	/						/		[] [] () ()	[] [] () ()	
計			[] [] () ()			[] [] () ()	[] [] (-)				

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	/
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	633 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{633} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教員	講師	助教	助手			
教養教育科目	導入教育 ガイダンス	『岡山大学入門講座』	1①	0.5								2
		『キャリア形成基礎講座』	1①	0.5								2
		機械システム系入門	1①	1								4
		環境・社会基盤系入門	1①	1								4
		情報・電気・数理論データサイエンス系入門	1①	1								4
		化学・生命系入門	1①	1								4
	補習教育	初等数学1	1①		1							1
		初等数学2	1②		1							1
		初等生物学1	1①		1							1
		初等生物学2	1②		1							1
		初等物理学1	1①		1							1
		初等物理学2	1①		1							1
小計(12科目)		—	5	0	6	0	0	0	0	0	21	
知的理解	現代と社会	生活の中のテクノロジー	1~2①②③④	1								1
		授業研究入門	1~2①②③④	1								1
		学校と教師の役割を考える	1~2①②③④	1								1
		教育行政の基礎	1~2①②③④	1								1
		教育と国家	1~2①②③④	1								1
		哲学史への招待	1~2①②③④	1								1
		アウグスティヌスと西洋倫理想	1~2①②③④	1								1
		臨床死生学入門	1~2①②③④	1								1
		王朝物語の世界1	1~2①②③④	1								1
		日本語の音声	1~2①②③④	1								1
		日本語の語彙と文法	1~2①②③④	1								1
		ひとのこぼの起源と進化1	1~2①②③④	1								1
		ひとのこぼの起源と進化2	1~2①②③④	1								1
		日本語の諸相	1~2①②③④	0.5								1
		日本語史の諸問題2	1~2①②③④	1								1
		SF映画における人間記憶のモデル	1~2①②③④	1								1
		教養としての日本文学	1~2①②③④	1								1
		唐詩の四季	1~2①②③④	0.5								1
		日本史を見る眼	1~2①②③④	1								1
		地域を語る史料	1~2①②③④	1								1
		ジェンダーを考える	1~2①②③④	1								1
		セクシュアリティの文化史1	1~2①②③④	1								1
		アジアを知る	1~2①②③④	1								2
		第三帝国(ナチス・ドイツ)の歴史	1~2①②③④	1								1
		西洋外交史(近代編)	1~2①②③④	1								1
		地理学基礎論	1~2①②③④	1								1
		地理学入門	1~2①②③④	1								1
		文化人類学への招待	1~2①②③④	1								1
		社会学で考える	1~2①②③④	1								1
		異文化接触の心理学	1~2①②③④	1								1
		社会心理学1	1~2①②③④	1								1
		仏教と臨床心理学	1~2①②③④	1								1
		対人支援職のための精神医学入門	1~2①②③④	1								1
		人間関係論入門	1~2①②③④	1								1
		教育心理学	1~2①②③④	1								1
		発達心理学概論	1~2①②③④	1								1
		万葉集を読む	1~2①②③④	1								1
		日本語学と言語表現	1~2①②③④	1								1
		日本の刑事裁判	1~2①②③④	1								1
		いじめの憲法学—生徒の人格と学校の責務—	1~2①②③④	1								1
		家族のもめごとと法	1~2①②③④	1								1
		政治学入門	1~2①②③④	1								1
		日本国憲法	1~2①②③④	2								1
		Current Political Events	1~2①②③④	1								1
		金融経済学	1~2①②③④	1								1
		経済データ処理入門	1~2①②③④	1								1
		経済学基礎	1~2①②③④	1								1
		財政学入門	1~2①②③④	1								1
		働くことの社会保障	1~2①②③④	1								1
		企業経営と金融市場	1~2①②③④	1								1
		マーケティング論	1~2①②③④	1								1
		教育経済学	1~2①②③④	1								1
		現代コミュニティと地域創生	1~2①②③④	1								1
		フードシステムの経済	1~2①②③④	1								1
		史料でみる近代日本と岡山—産業化の開始	1~2①②③④	1								1
		史料でみる近代日本と岡山—産業化の展開	1~2①②③④	1								1
		史料でみる近代日本と岡山—社会生活の基礎	1~2①②③④	1								1
		史料でみる近代日本と岡山—社会生活の展開	1~2①②③④	1								1
		所得の格差を測る	1~2①②③④	1								1
		科学技術史	1~2①②③④	1								1
		日本語研究と教材作成	1~2①②③④	1								1
		日本語教授法概論	1~2①②③④	1								1
		言語と社会	1~2①②③④	1								1
		日本語教育とマルチメディア	1~2①②③④	1								1
		大学と社会	1~2①②③④	1								1
		大学教育を考えよう	1~2①②③④	1								1
		アニメ・ジブリアニメから学ぶ日本	1~2①②③④	1								1
		日本のポップカルチャー紹介	1~2①②③④	1								1
		バリアフリーとアクセシビリティ	1~2①②③④	1								1
		現代国際事情	1~2①②③④	1								1
		生命保険を考える	1~2①②③④	1								1
		地域研究:アプローチと方法	1~2①②③④	1								1
		環境教育手法	1~2①②③④	1								1
		日本の農業と農村社会	1~2①②③④	1								1
		開発学入門	1~2①②③④	1								1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教員	講師	助教	助手			
教養教育科目	導入教育 ガイダンス	『岡山大学入門講座』	1①	0.5								2
		『キャリア形成基礎講座』	1①	0.5								3
		機械システム系入門	1①	1								4
		環境・社会基盤系入門	1①	1								6
		情報・電気・数理論データサイエンス系入門	1①	1								3
		化学・生命系入門	1①	1								8
	補習教育	初等数学1	1①		1							1
		初等数学2	1②		1							1
		初等生物学1	1①		1							1
		初等生物学2	1②		1							1
		初等物理学1	1①		1							1
		初等物理学2	1①		1							1
小計(12科目)		—	5	0	6	0	0	0	0	0	28	
知的理解	現代と社会	授業研究入門	1~2①②③④	1								1
		哲学史への招待	1~2①②③④	1								1
		臨床死生学入門	1~2①②③④	1								1
		日本語の音声	1~2①②③④	1								1
		日本語の諸相	1~2①②③④	0.5								1
		教養としての日本文学	1~2①②③④	1								1
		唐詩の四季	1~2①②③④	0.5								1
		日本史を見る眼	1~2①②③④	1								1
		地域を語る史料	1~2①②③④	1								1
		アジアを知る	1~2①②③④	1								2
		文化人類学への招待	1~2①②③④	1								1
		社会学で考える	1~2①②③④	1								1
		異文化接触の心理学	1~2①②③④	1								1
		日本語学と言語表現	1~2①②③④	1								1
		いじめの憲法学—生徒の人格と学校の責務—	1~2①②③④	1								1
		日本国憲法	1~2①②③④	2								1
		Current Political Events	1~2①②③④	1								1
		金融経済学	1~2①②③④	1								1
		経済データ処理入門	1~2①②③④	1								1
		現代コミュニティと地域創生	1~2①②③④	1								1
		日本語研究と教材作成	1~2①②③④	1								1
		日本語教授法概論	1~2①②③④	1								1
		言語と社会	1~2①②③④	1								1
		大学と社会	1~2①②③④	1								1
		大学教育を考えよう	1~2①②③④	1								1
		現代国際事情	1~2①②③④	1								1
		地域研究:アプローチと方法	1~2①②③④	1								1
		日本の農業と農村社会	1~2①②③④	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	単位	専任	准専任	講師	助教	
	ジェンダーと開発	1~2①②③④	1								1
	異文化組織で働く	1~2①②③④	1								1
	茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1~2①②③④	1								1
	日本建築史(古代、中近世)	1~2①②③④	1								1
	社会科学としての比較教育I	1~2①②③④	1								1
	茶の湯にみる日本文化1:日本の美と文化史	1~2①②③④	1								1
	日本建築史(近代、現代)	1~2①②③④	1								1
	社会科学としての比較教育II	1~2①②③④	1								1
	現代日本におけるジェンダー	1~2①②③④	1								1
	比較・国際高等教育論I	1~2①②③④	1								1
	国際協力とプロジェクト管理	1~2①②③④	1								1
	ジェンダーで日本経済を考える	1~2①②③④	1								1
	グローバル社会の地域研究入門(アジア・太平洋諸島)	1~2①②③④	1								2
	比較・国際高等教育論II	1~2①②③④	1								1
	中級ワークショップ:東アジア人材育成留学体験入門コース	1~2①②③④	2								1
	語学研修・サマーコース	1~2①②③④	1								4
	海外留学ガイダンス	1~2①②③④	1								4
	異文化理解1	1~2①②③④	1								1
	グローバル人材育成特別コース入門	1~2①②③④	1								1
	日本文化理解1	1~2①②③④	1								1
	Japan in the Age of Globalization 1	1~2①②③④	1								1
	Japan in the Age of Globalization 2	1~2①②③④	1								1
	Principles of Management	1~2①②③④	1								1
	Global Sociology: Understanding Diversity	1~2①②③④	1								1
	Culture and Illness	1~2①②③④	1								1
	Cross-Cultural Experiences	1~2①②③④	1								1
	Giving and Volunteering	1~2①②③④	1								1
	子どもの歴史の学び方	1~2①②③④	1								1
	言葉と創作	1~2①②③④	1								1
	セルビア・クロアチア語	1~2①②③④	1								1
	L-cafe で学ぶグローバル基礎力	1~2①②③④	1								1
	語学研修・スプリングコース	1~2①②③④	1								4
	ドイツ語海外研修	1~2①②③④	2								1
	韓国語海外研修	1~2①②③④	1								1
	中国語海外研修	1~2①②③④	1								1
	フランス語海外研修	1~2①②③④	2								1
	人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1~2①②③④	1								1
	和食入門	1~2①②③④	1								1
	日本企業におけるコミュニケーション	1~2①②③④	1								1
	フィールド・チャレンジA	1~2①②③④	1								1
	フィールド・チャレンジB3	1~2①②③④	1								1
	教育における新聞活用の理論と実践(1)	1~2①②③④	1								1
	教育における新聞活用の理論と実践(2)	1~2①②③④	1								1
	対話による社会参画入門	1~2①②③④	1								1
	対話による社会参画入門(1)	1~2①②③④	1								1
	アートとコミュニケーションA	1~2①②③④	1								2
	アートとコミュニケーションB	1~2①②③④	1								2
	対話による社会参画入門(2)	1~2①②③④	1								1
	現代政治入門	1~2①②③④	1								1
	国際政治入門	1~2①②③④	1								1
	国際保健システム論	1~2①②③④	2								2
	社会福祉論	1~2①②③④	2								2
	政治学a	1~2①②③④	1								1
	政治学b	1~2①②③④	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	単位	専任	准専任	講師	助教	
	異文化組織で働く	1~2①②③④	1								1
	茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1~2①②③④	1								1
	社会科学としての比較教育I	1~2①②③④	1								1
	茶の湯にみる日本文化1:日本の美と文化史	1~2①②③④	1								1
	社会科学としての比較教育II	1~2①②③④	1								1
	比較・国際高等教育論I	1~2①②③④	1								1
	国際協力とプロジェクト管理	1~2①②③④	1								1
	比較・国際高等教育論II	1~2①②③④	1								1
	語学研修・サマーコース	1~2①②③④	1								2
	海外留学ガイダンス	1~2①②③④	1								3
	異文化理解1	1~2①②③④	1								1
	グローバル人材育成特別コース入門	1~2①②③④	1								1
	日本文化理解1	1~2①②③④	1								1
	Japan in the Age of Globalization 1	1~2①②③④	1								1
	Japan in the Age of Globalization 2	1~2①②③④	1								1
	Culture and Illness	1~2①②③④	1								1
	子どもの歴史の学び方	1~2①②③④	1								1
	セルビア・クロアチア語	1~2①②③④	1								1
	L-cafe で学ぶグローバル基礎力	1~2①②③④	1								1
	語学研修・スプリングコース	1~2①②③④	1								2
	人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1~2①②③④	1								1
	フィールド・チャレンジA	1~2①②③④	1								1
	フィールド・チャレンジB3	1~2①②③④	1								1
	対話による社会参画入門	1~2①②③④	1								1
	アートとコミュニケーションA	1~2①②③④	1								2
	アートとコミュニケーションB	1~2①②③④	1								2
	現代政治入門	1~2①②③④	1								1
	王廟物語の世界3	1~2①②③④	1								1
	文化人類学の考え方	1~2①②③④	1								1
	自然と人間の共生	1~2①②③④	1								1
	史料に親しむ	1~2①②③④	1								1
	ジェンダーと公正	1~2①②③④	1								1
	ビザンツ帝国と地中海世界1	1~2①②③④	1								1
	ビザンツ帝国と地中海世界2	1~2①②③④	1								1
	イギリスとアイルランドの探偵小説	1~2①②③④	1								1
	科学技術史入門	1~2①②③④	1								1
	ひとの言葉の起源と進化論	1~2①②③④	1								1
	Introduction to audio fiction and podcasts	1~2①②③④	1								1
	認知心理学1	1~2①②③④	1								1
	認知心理学2	1~2①②③④	1								1
	教科書に載らない唐詩	1~2①②③④	0.5								1
	国語教科書を読む	1~2①②③④	1								1
	地域の子どものための音楽ワークショップ	1~2①②③④	1								1
	乳幼児期の教育	1~2①②③④	1								1
	日本中世史から考える権力と秩序	1~2①②③④	1								1
	教育の現代的課題	1~2①②③④	1								1
	現代の政治思想	1~2①②③④	1								1
	法と人間行動	1~2①②③④	1								1
	現代社会と法	1~2①②③④	1								2
	国際金融入門	1~2①②③④	1								1
	ゲーム理論入門	1~2①②③④	1								1
	社会ネットワーク分析入門	1~2①②③④	1								1
	東アジア近代経済史	1~2①②③④	1								1
	日中国保論	1~2①②③④	1								1
	日本学入門	1~2①②③④	1								1
	ハワイ研究入門I	1~2①②③④	1								1
	ハワイ研究入門II	1~2①②③④	1								1
	グローバル社会における日本語教育	1~2①②③④	1								1
	Introduction to Development Studies	1~2①②③④	1								1
	ドイツ語海外研修(夏季)	1~2①②③④	1								1
	フランス語海外研修(春季)	1~2①②③④	2								1
	中国語海外研修(夏季)	1~2①②③④	1								1
	中国語海外研修(春季)	1~2①②③④	1								1
	韓国語海外研修(夏季)	1~2①②③④	1								1
	ダイバーシティ&インクルージョン概論	1~2①②③④	1								1
	日本サブカルチャー論	1~2①②③④	1								1
	レイシズムとエスニシティ研究入門I	1~2①②③④	1								1
	レイシズムとエスニシティ研究入門II	1~2①②③④	1								1
	アメリカ合衆国の過去と現在C1	1~2①②③④	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任 手 1
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手	
	生化学IA	1~2①②③④	1								1
	生化学IB	1~2①②③④	1								1
	生物物理学	1~2①②③④	2								2
	基礎物質化学1	1~2①②③④	1								1
	基礎物質化学2	1~2①②③④	1								1
	基礎地球科学1b	1~2①②③④	1								1
	感染免疫学	1~2①②③④	1								1
	情報数理科学I	1~2①②③④	2								1
	情報数理科学II	1~2①②③④	2								1
	医用工学入門	1~2①②③④	2								2
	薬用植物学	1~2①②③④	1								1
	農学概論1	1~2①②③④	1								3
	農学概論2	1~2①②③④	1								3
	農生命化学1	1~2①②③④	1								1
	農生命化学2	1~2①②③④	1								1
	農業生物学1	1~2①②③④	1								2
	農業生物学2	1~2①②③④	1								2
	農業資源学1	1~2①②③④	1								1
	農業資源学2	1~2①②③④	1								1
	農芸化学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	農芸化学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	応用植物科学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	応用植物科学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	応用動物科学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	応用動物科学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	環境生態学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	環境生態学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	基礎微生物学1	1~2①②③④	1								1
	基礎微生物学2	1~2①②③④	1								1
	基礎遺伝学1	1~2①②③④	1								3
	基礎遺伝学2	1~2①②③④	1								3
	基礎分子生物学1	1~2①②③④	1								1
	基礎分子生物学2	1~2①②③④	1								1
	生態学概論1	1~2①②③④	1								1
	生態学概論2	1~2①②③④	1								1
	応用微生物学1-1	1~2①②③④	1								1
	応用微生物学1-2	1~2①②③④	1								1
	農場体験実習	1~2①②③④	1								1
	SDGs: エネルギーとエントロピー	1③	1								1
	SDGs: 地球と環境	1③	1								1
	SDGs: 基礎地球科学	1③	1								1
	SDGs: 気象と水象	1③	1								1
	SDGs: 化学イノベーション	1③	1								1
	SDGs: 生命科学	1④	1								1
	SDGs: 大気環境学	1④	1								1
	SDGs: 自然エネルギー利用技術	1④	1								1
	SDGs: 循環型社会システム学	1④	1								1
	SDGs: 社会生活と材料工学	1④	1								1
	小計(355科目)	-	10	357	0	0	0	0	0	0	322
実践知・感性	SDGs: 持続可能な社会に向けた岡山のまちづくり事例	1~2①②③④	1								3
	岡山市の魅力の世界に伝える活動	1~2①②③④	1								1
	岡山の祭りとその運営-うらじゃへの参画-1	1~2①②③④	1								1
	コミュニティ・ベースド・ラーニングのデザイン1	1~2①②③④	1								1
	郷土の歴史から学ぶ財政論	1~2①②③④	1								1
	地域高齢者と介護1	1~2①②③④	1								2
	実践型教育/学習概論1	1~2①②③④	1								1
	クリエイティブ・ディレクター養成(入門)-1	1~2①②③④	1								2
	フィールド調査の基礎を学ぶ スペシャル	1~2①②③④	1								1
	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動1	1~2①②③④	1								1
	支援隊~子どもの安全・安心のために~	1~2①②③④	1								1
	岡山の祭りとその運営-うらじゃへの参画-2	1~2①②③④	1								1
	岡山まちづくり論(1)	1~2①②③④	1								1
	「妊娠・子育て」を考える	1~2①②③④	1								1
	地域高齢者と介護2	1~2①②③④	2								2
	クリエイティブ・ディレクター養成(入門)-2	1~2①②③④	1								2
	フィールド調査の基礎を学ぶ デラックス	1~2①②③④	1								1
	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動II	1~2①②③④	1								1
	岡山を知る1	1~2①②③④	1								2
	岡山を知る2	1~2①②③④	1								1
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1~2①②③④	1								1
	クリエイティブ・ディレクター養成(展開)-1	1~2①②③④	1								2
	実践型まちづくり論1	1~2①②③④	1								1
	小中学生の協同教育のための教材開発	1~2①②③④	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任 手 1
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手	
	生化学IA	1~2①②③④	1								1
	生化学IB	1~2①②③④	1								1
	生物物理学	1~2①②③④	2								2
	基礎物質化学1	1~2①②③④	1								1
	基礎物質化学2	1~2①②③④	1								1
	農学概論1	1~2①②③④	1								3
	農学概論2	1~2①②③④	1								3
	農生命化学1	1~2①②③④	1								1
	農生命化学2	1~2①②③④	1								1
	農業生物学1	1~2①②③④	1								2
	農業生物学2	1~2①②③④	1								2
	農業資源学1	1~2①②③④	1								1
	農業資源学2	1~2①②③④	1								1
	農芸化学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	農芸化学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	応用植物科学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	応用植物科学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	応用動物科学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	応用動物科学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	環境生態学コース概論1	1~2①②③④	1								1
	環境生態学コース概論2	1~2①②③④	1								1
	基礎遺伝学1	1~2①②③④	1								3
	基礎遺伝学2	1~2①②③④	1								3
	基礎分子生物学1	1~2①②③④	1								1
	基礎分子生物学2	1~2①②③④	1								1
	生態学概論1	1~2①②③④	1								1
	生態学概論2	1~2①②③④	1								1
	応用微生物学1-1	1~2①②③④	1								1
	応用微生物学1-2	1~2①②③④	1								1
	農場体験実習	1~2①②③④	1								1
	システム工学で何ができるか	1~2①②③④	1								1
	数現現代物理学(一般相対性理論)	1~2①②③④	1								1
	数現現代物理学(量子力学)	1~2①②③④	1								1
	数現物理学(初等電磁気学)1	1~2①②③④	1								2
	数現物理学(初等電磁気学)2	1~2①②③④	1								2
	現代化学	1~2①②③④	1								3
	基礎微分積分学I	1~2①②③④	2								1
	微分積分学I	1~2①②③④	2								1
	線形代数学I	1~2①②③④	2								1
	現代数学要論I	1~2①②③④	2								1
	基礎微分積分学II	1~2①②③④	2								1
	微分積分学II	1~2①②③④	2								1
	線形代数学II	1~2①②③④	2								1
	現代数学要論II	1~2①②③④	2								1
	電子物性工学基礎	1~2①②③④	2								1
	環境生物学	1~2①②③④	1.5								2
	情報処理及び演習A	1~2①②③④	1								2
	情報処理及び演習B	1~2①②③④	1								2
	情報処理及び演習C	1~2①②③④	1								2
	Chemistry for Chemical Engineering	1~2①②③④	1.5								1
	Instrumental Analysis	1~2①②③④	1								1
	Mathematics for Physical Chemistry	1~2①②③④	1.5								1
	Introduction to Catalytic Chemistry	1~2①②③④	1								1
	SDGs: エネルギーとエントロピー	1③	1								2
	SDGs: 地球と環境	1③	1								1
	SDGs: 基礎地球科学	1③	1								2
	SDGs: 気象と水象	1③	1								3
	SDGs: 化学イノベーション	1③	1								2
	SDGs: 生命科学	1④	1								4
	SDGs: 大気環境学	1④	1								1
	SDGs: 自然エネルギー利用技術	1④	1								3
	SDGs: 循環型社会システム学	1④	1								2
	SDGs: 社会生活と材料工学	1④	1								1
	小計(295科目)	-	10	297	0	0	0	0	0	0	285
実践知・感性	SDGs: 持続可能な社会に向けた岡山のまちづくり事例	1~2①②③④	1								2
	岡山の祭りとその運営-うらじゃへの参画-1	1~2①②③④	1								1
	クリエイティブ・ディレクター養成(入門)-1	1~2①②③④	1								2
	岡山の祭りとその運営-うらじゃへの参画-2	1~2①②③④	1								1
	岡山まちづくり論(1)	1~2①②③④	1								1
	クリエイティブ・ディレクター養成(入門)-2	1~2①②③④	1								2
	岡山を知る1	1~2①②③④	1								2
	岡山を知る2	1~2①②③④	1								1
	クリエイティブ・ディレクター養成(展開)-1	1~2①②③④	1								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准	講師	助教	助手	兼任		
	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅰ	1~2①②③④	1									1	
	交流による子どもの成長支援Ⅰ	1~2①②③④	1									1	
	交流による子どもの成長支援Ⅱ	1~2①②③④	1									1	
	創造的討論技術を学ぶ デラックス	1~2①②③④	1									1	
	クリエイティブ・ディレクター養成(展開)-2	1~2①②③④	1									2	
	実践型まちづくり論2	1~2①②③④	1									3	
	安全衛生入門	1~2①②③④	1									1	
	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅴ	1~2①②③④	1									1	
	サービスラーニング1	1~2①②③④	2									2	
	多職種連携と地域包括ケアのワークショップ	1~2①②③④	2									2	
	サービスラーニング2	1~2①②③④	2									1	
	株式会社-親子チャレンジ ~知識を社会に-経験を学びに-	1~2①②③④	2									1	
	地域に根ざす女性・子ども応援講座	1~2①②③④	2									3	
	倉敷市水島から学ぶ地域社会と環境	1~2①②③④	2									1	
	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅲ	1~2①②③④	1									3	
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1~2①②③④	1									3	
	実践デモクラティック・ラーニング1	1~2①②③④	1									3	
	地域社会と博物館(美術館)	1~2①②③④	1									3	
	国際インターシッップ	1~2①②③④	3									1	
	国際インターシッップ	1~2①②③④	4									1	
	ボランティア学習論	1~2①②③④	1									2	
	災害復興のまちづくり論1	1~2①②③④	1									1	
	身体表現学入門	1~2①②③④	1									1	
	地域に向けた身体表現ワークショップ活動	1~2①②③④	1									1	
	デジタルマーケティング入門-グローバル市場における成長戦略の構築	1~2①②③④	1									1	
	革新的起業と先端技術-世界を変えるイノベーション	1~2①②③④	1									1	
	アントレプレナーの戦略的思考	1~2①②③④	1									1	
	アントレプレナーの事業開発方法	1~2①②③④	1									1	
	岡山まちづくり論(2)	1~2①②③④	1									1	
芸術知	現代芸術と哲学	1~2①②③④	1									1	
	芸術と生活	1~2①②③④	1									1	
	芸術と社会	1~2①②③④	1									1	
	ユニバーサルデザイン	1~2①②③④	1									1	
	アートはあなたを映す鏡-みても、考えて、対話する	1~2①②③④	1									1	
	現代アート	1~2①②③④	1									1	
	日本の木文化	1~2①②③④	1									1	
	ヨーロッパ美術の中の人体	1~2①②③④	1									1	
	備前焼の評論の歴史と鑑定	1~2①②③④	1									1	
	音楽への招待	1~2①②③④	1									1	
	デザインの周辺	1~2①②③④	1									1	
	日本美術論	1~2①②③④	1									1	
	アフリカ文化入門	1~2①②③④	1									2	
	中国古典庭園の芸術と思想	1~2①②③④	1									1	
	日本舞踊入門	1~2①②③④	1									1	
	岡山県立美術館のコレクション	1~2①②③④	1									1	
	現代社会における美術館-大原美術館の事例を中心に	1~2①②③④	1									1	
	石と語る(石彫)	1~2①②③④	2									1	
	木と語る、玩具と語る	1~2①②③④	2									1	
	中国建築の歴史と象徴性	1~2①②③④	1									1	
	ベネッセアートサイト直島に作品が設置されるまで	1~2①②③④	1									4	
	地域芸術資源の取材実践演習	1~2①②③④	2									3	
	現代「アート」の国際的位置づけ	1~2①②③④	1									1	
	日本の古美術	1~2①②③④	1									1	
	小計(77科目)		0	91	0	0	0	0	0	0	0	47	
汎用的技能と健康	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1①	1									1	
	情報処理入門2(情報機器の操作を含む)	1②	1									1	
	情報処理入門3(情報機器の操作を含む)	1③	1									1	
	プログラミング入門	1~2①②③④	1									1	
	高度情報セキュリティ技術	1~2①②③④	1									1	
	インターネットと認証連携	1~2①②③④	1									1	
	IT英語入門	1~2①②③④	1									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准	講師	助教	助手	兼任		
	交流による子どもの成長支援Ⅰ	1~2①②③④	1									1	
	クリエイティブ・ディレクター養成(展開)-2	1~2①②③④	1									2	
	安全衛生入門	1~2①②③④	1									4	
	多職種連携と地域包括ケアのワークショップ	1~2①②③④	2									3	
	倉敷市水島から学ぶ地域社会と環境	1~2①②③④	1									2	
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1~2①②③④	1									2	
	地域社会と博物館(美術館)	1~2①②③④	1									3	
	身体表現学入門	1~2①②③④	1									1	
	地域に向けた身体表現ワークショップ活動	1~2①②③④	1									1	
	日本でLGBT/SOGIの問題を考える	1~2①②③④	1									1	
	実践デモクラティック・ラーニング	1~2①②③④	1									1	
	サービスラーニングA1	1~2①②③④	1									1	
	サービスラーニングA2	1~2①②③④	1									1	
	サービスラーニングB1	1~2①②③④	1									1	
	サービスラーニングB2	1~2①②③④	1									1	
	SDGs入門	1~2①②③④	1									1	
	社会参画のデザイン1	1~2①②③④	1									1	
	地域の未来デザイン	1~2①②③④	1									1	
	社会参画のデザイン2	1~2①②③④	1									1	
	対話から学ぶシイズンシップ	1~2①②③④	1									1	
	プロジェクト・ゼロ(実践編)	1~2①②③④	1									1	
	【学生発表演習】岡大SDGsコラボレーション ~企業のSDGs活動を知らそう~	1~2①②③④	1									1	
	サーベントリーダーシップ1	1~2①②③④	1									1	
	サーベントリーダーシップ2	1~2①②③④	1									1	
	Applied Educational Research 1	1~2①②③④	1									1	
	Applied Educational Research 2	1~2①②③④	1									1	
	Multilingual Marketing and Community Connection 1	1~2①②③④	1									1	
	Multilingual Marketing and Community Connection 2	1~2①②③④	1									1	
	地域文化資源活用実践演習	1~2①②③④	2									2	
	交流による子どもの成長支援Ⅱ	1~2①②③④	1									1	
	対話による社会参画入門上級編	1~2①②③④	1									1	
	SDGs実践チームビルディング ~シェアド・リーダーシップを伝えよう	1~2①②③④	1									1	
	プロジェクト・ゼロ(目標達成プログラム)	1~2①②③④	1									1	
	アントレプレナーシップⅠ	1~2①②③④	1									1	
	アントレプレナーシップⅡ	1~2①②③④	1									1	
	アントレプレナーのための経営戦略論(基本編)	1~2①②③④	1									1	
	アントレプレナーのための経営戦略論(応用編)	1~2①②③④	1									1	
芸術知	現代芸術と哲学	1~2①②③④	1									1	
	芸術と生活	1~2①②③④	1									1	
	芸術と社会	1~2①②③④	1									1	
	ユニバーサルデザイン	1~2①②③④	1									1	
	アートはあなたを映す鏡-みても、考えて、対話する	1~2①②③④	1									1	
	現代アート	1~2①②③④	1									1	
	日本の木文化	1~2①②③④	1									1	
	ヨーロッパ美術の中の人体	1~2①②③④	1									1	
	備前焼の評論の歴史と鑑定	1~2①②③④	1									1	
	音楽への招待	1~2①②③④	1									1	
	デザインの周辺	1~2①②③④	1									1	
	日本美術論	1~2①②③④	1									1	
	アフリカ文化入門	1~2①②③④	1									2	
	中国古典庭園の芸術と思想	1~2①②③④	1									1	
	日本舞踊入門	1~2①②③④	1									1	
	岡山県立美術館のコレクション	1~2①②③④	1									1	
	現代社会における美術館-大原美術館の事例を中心に	1~2①②③④	1									1	
	石と語る(石彫)	1~2①②③④	2									1	
	木と語る、玩具と語る	1~2①②③④	2									1	
	中国建築の歴史と象徴性	1~2①②③④	1									1	
	ベネッセアートサイト直島に作品が設置されるまで	1~2①②③④	1									3	
	地域芸術資源の取材実践演習	1~2①②③④	2									3	
	現代「アート」の国際的位置づけ	1~2①②③④	1									1	
	ベネッセアートサイト直島に作品が設置されるまで-豊島実習-	1~2①②③④	1									3	
	美術の見方、楽しみ方	1~2①②③④	1									1	
	近代日本美術の歴史と世界	1~2①②③④	1									1	
	小計(71科目)		0	78	0	0	0	0	0	0	0	48	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置				兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教員	准	講	助	助					
材料工学	材料工学	2③	2	1	1	1	1								
	機械設計学	3②	2	1	1										
	機構デザイン学	2④	2	1	1										
	特殊加工学	3②	2	1	1										
	伝熱学	3③	2	1	1										
	メカニカルデザイン基礎	3③④	2	2	2										
	数値シミュレーション	3③④	2	1	1			1							
	材料応用学	3④	1	1	1										
	選択B群 塑性工学	3④	1	1	1										
	潜熱移動学	3④	1	1	1										
	エネルギー工学	3①	1	1	1										
	CAD	3③④	1	1	2										
	小計(18科目)	—	9	25	0	6	5	1	5	0					
	ロボティクス・知能システムコース科目	システム工学総合Ⅰ	3①	2			1								
		システム工学総合Ⅱ	3③④	4					4						
		工学実践英語Ⅰ	3③	1		1									
		工学実践英語Ⅱ	3④	1		1									
		デジタル回路	2④	2					1						
システムCAD		2③	1					1							
ロボット機構学		2④	1		1										
メカトロニクス基礎Ⅰ		2③	1		1										
メカトロニクス基礎Ⅱ		2④	1		1										
ロボットビジョン		3②	1		1										
システム制御Ⅱ		3②	1		1										
エネルギー環境システム基礎論		3③	1		1										
認知工学		3②	2										1		
知的制御システム		3④	1		1										
知能ロボット運用論		3④	1										1		
オペレーションズ・リサーチⅠ		3②	1										1		
オペレーションズ・リサーチⅡ		3③	1										1		
オペレーションズ・リサーチⅢ		3④	1										1		
メカトロニクス応用	3②	1		1											
移動ロボット学	3③	1		1											
ロボットダイナミクス	3③④	2										1			
インターフェイス設計学	3③	1										1			
小計(22科目)	—	8	21	0	2	4	0	4	0	4	0	4	0		
環境・社会基盤系科目	測量学Ⅰ及び実習	1①②	3		1	2		1						1	
	測量学Ⅱ及び実習	1③④	3		2									1	
	環境物理化学	1①	1		2									1	
	環境化学	1②	1		2									1	
	構造力学Ⅰ及び演習	1①②	3		2									2	
	構造力学Ⅱ	1③④	2		2									2	
	土質力学Ⅰ及び演習	2①②	3		1	2								2	
	土質力学Ⅱ	2③④	2		1									1	
	水理学及び演習	2③④	3		1	3								3	
	キャリア形成論	3①	1		2									2	
	インターンシップ	3①	1		2									2	
	技術表現法	3④	1		1									1	
	実践コミュニケーション論	1-2③④	2											2	
	特別研究	4通	10		12	20		1						2	
	小計(14科目)	—	26	10	0	12	20	0	1	0	3				
	都市環境創成コース科目	工業数学Ⅰ	2①②	2			2								2
		工業数学Ⅱ	2③④	2			2								2
		数値解析及び演習	2①②	2		1	3								2
CAD及びIoT技術		2③	1		1	1								1	
振動学及び演習		2①②	3		1									1	
鋼構造設計学及び演習		2③④	3		1									1	
コンクリート構造設計学Ⅰ及び演習		2①②	3		1	1								1	
コンクリート構造設計学Ⅱ		2③④	2		1	1								1	
構造材料学		2③④	2		1	1								1	
建設施工学		2③④	2		1									1	
景観論		2①②	2		1									1	
都市・地域計画学		2①②	2		2									1	
交通まちづくり計画学		2①②	2		1									1	
計画数理論		2③④	2		1									1	
道路政策論		3①	1		1									1	
都市解析学		3③④	2		1	1								1	
計画学演習		3③④	1		1	2								2	
土質試験法及び実験		3③④	1			2								1	
材料試験法及び実験	3③④	1		1	1								1		
小計(19科目)	—	26	10	0	4	9	0	0	0	0	0	0	0		
土木教育プログラム科目	水理設計学及び演習	3①	3			2								1	
	水理計測法及び実験	3③④	1		2									1	
	河川環境学	3①	2		2									2	
	地下水工学	3①	2		2									2	
	環境水理学	3①	2		2									2	
	水質学	3①	2		2									2	
	水道工学	3③	1		1									1	
	下水道工学	3④	1		1									1	
	環境衛生学実験	3③④	1		3									2	
	小計(9科目)	—	15	0	0	6	0	0	0	0	1				
	建築教育プログラム科目	建築設計	3通	4		1									1
		建築製図	3②③④	3		1									1
		インテリア計画	3①②	2		1									1
		建築計画学及び演習	3③④	3		1									1
		建築史	3③④	2		1									1
		建築法規	3③④	2		1									1
		建築環境工学	3①②	2		1									1
		建築設備	3③④	2		1									1
都市環境計画学		3①②	2		1									1	
小計(9科目)		—	22	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置				兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教員	准	講	助	助					
材料工学	材料工学	2③	2	1	1	1	1								
	機械設計学	3②	2	1	1										
	機構デザイン学	2④	2	1	1										
	特殊加工学	3②	2	1	1										
	伝熱学	3③	2	1	1										
	メカニカルデザイン基礎	3③④	2	2	2										
	数値シミュレーション	3③④	2	1	1			1							
	材料応用学	3④	1	1	1										
	選択B群 塑性工学	3④	1	1	1										
	潜熱移動学	3④	1	1	1										
	エネルギー工学	3①	1	1	1										
	CAD	3③④	1	1	2										
	小計(18科目)	—	9	25	0	7	4	1	5	0	0				
	ロボティクス・知能システムコース科目	システム工学総合Ⅰ	3①	2			1								
		システム工学総合Ⅱ	3③④	4					4						
		工学実践英語Ⅰ	3③	1		1									
		工学実践英語Ⅱ	3④	1		1									
		デジタル回路	2④	2					1						
システムCAD		2③	1					1							
ロボット機構学		2④	1		1										
メカトロニクス基礎Ⅰ		2③	1		1										
メカトロニクス基礎Ⅱ		2④	1		1										
ロボットビジョン		3②	1		1										
システム制御Ⅱ		3②	1		1										
エネルギー環境システム基礎論		3③	1		1										
認知工学		3②	2											1	
知的制御システム		3④	1		1										
知能ロボット運用論		3④	1											1	
オペレーションズ・リサーチⅠ		3②	1											1	
オペレーションズ・リサーチⅡ		3③	1											1	
オペレーションズ・リサーチⅢ		3④	1											1	
メカトロニクス応用	3②	1		1											
移動ロボット学	3③	1		1											
ロボットダイナミクス	3③④	2											1		
インターフェイス設計学	3③	1											1		
小計(22科目)	—	8	21	0	2	4	0	4	0	4					

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手				
	情報科指導法(応用Ⅰ)	2												1	
	情報科指導法(応用Ⅱ)	2												1	
	工業科指導法(基礎Ⅰ)	2												1	
	工業科指導法(基礎Ⅱ)	2												1	
	工業科指導法(応用Ⅰ)	2												1	
	工業科指導法(応用Ⅱ)	2												1	
	工業概論	4③④													8
	職業指導概説	4①②													2
	小計(18科目)	—	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
	大学が独自に設定する科目	対話による社会参画入門	1③												1
		教育における新聞活用の理論と実際	3												1
		フィールド・チャレンジA	1①②③④												1
		フィールド・チャレンジB②	1①②③④												1
フィールド・チャレンジA③		1①②③④												1	
くらしと環境A		1休												2	
くらしと環境B		1休												2	
アートとコミュニケーションA		2①												2	
アートとコミュニケーションB		2②												2	
学校経営と学校図書館		4												1	
学習指導と学校図書館		4												1	
学校図書館メディアの構成		4												1	
読書と人間形成		4												1	
情報メディアの活用	4												1		
小計(14科目)	—	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	18		
合計(1005科目)	—	383	924	82	58	65	9	33	0	0	0	0	554		

卒業要件及び履修方法

【機械システム系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目18単位(必修14単位、選択4単位)、系科目47単位(必修39単位、選択8単位)、
 コース科目31単位(機械工学コース:必修9単位、選択22単位、ロボティクス・知能システムコース:必修8単位、選択23単
 位)を修得し、合計126単位以上修得すること。
 なお、機械工学コースのコース選択科目は選択科目A群から12単位以上を修得、かつメカニカルデザイン基礎及び数値シ
 ミュレーションのうちいずれか2単位修得すること。

【環境・社会基盤系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目16単位(必修14単位、選択2単位)、系科目とコース科目とプログラム科目の合計80
 単位(うち系科目必修26単位、コース共通科目必修26単位、土木教育プログラム必修15単位、建築教育プログラム必修2
 2単位、環境マネジメントコース科目必修33単位)を修得し、合計126単位以上修得すること。

【情報・電気・数理データサイエンス系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位以上18単位まで(必修10単位、選択4単位以上8単位まで)、系科目15単位
 以上19単位まで(必修11単位、選択4単位以上8単位まで(各コース4単位の必修科目があります))、コース科目(情報工学
 コース科目:必修43単位、選択16単位以上、ネットワーク工学コース科目:必修14単位、選択45単位以上、エネルギー・エ
 レクトロニクスコース科目:必修14単位、選択45単位以上、数理データサイエンスコース科目:必修18単位、選択41単位
 以上)を修得し、合計126単位以上修得すること。
 なお、ネットワーク工学コース科目とエネルギー・エレクトロニクスコース科目のコース選択科目は選択科目A群から20単位
 以上、B群から20単位以上を修得すること。数理データサイエンスコース科目のコース選択科目は選択科目A群から6単位
 以上、B群から4単位以上、C群から4単位以上を修得すること。

【化学・生命系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位(必修10単位、選択4単位)、系科目43単位(必修34単位、選択9単位)、
 コース科目39単位(応用化学コース科目:必修10単位、選択29単位、生命工学コース科目:必修8単位、選択31単位)を
 修得し、合計126単位以上修得すること。また、TOEIC L&Rが450点以上であること。

※1年間の履修登録単位数の上限は50単位とし、前年度の成績が優秀な学生は、その年度に限り以下のとおり上限単位を
 超過して履修することを認める。
 対象者:前年度に上限単位数の8割以上を修得し、以下の条件を満たす者
 *平均点が80点以上の者…一年間当たり8単位まで増加可能
 *平均点が75点以上80点未満の者…一年間当たり4単位まで増加可能
 注)平均点=各修得科目(得点×単位数)の総和/修得総単位数

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	手				
	情報科指導法(応用Ⅰ)	2												1	
	情報科指導法(応用Ⅱ)	2												1	
	工業科指導法(基礎Ⅰ)	2												1	
	工業科指導法(基礎Ⅱ)	2												1	
	工業科指導法(応用Ⅰ)	2												1	
	工業科指導法(応用Ⅱ)	2												1	
	工業概論	4③④													8
	職業指導概説	4①②													2
	小計(18科目)	—	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
	大学が独自に設定する科目	対話による社会参画入門	1③												1
		教育における新聞活用の理論と実際	3												1
		フィールド・チャレンジA	1①②③④												1
		フィールド・チャレンジB②	1①②③④												1
フィールド・チャレンジA③		1①②③④												1	
くらしと環境A		1休												2	
くらしと環境B		1休												2	
学校経営と学校図書館		4												1	
学習指導と学校図書館		4												1	
学校図書館メディアの構成		4												1	
読書と人間形成		4												1	
情報メディアの活用		4												1	
小計(12科目)		—	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
合計(943科目)	—	383	855	80	65	64	8	33	0	0	0	0	534		

卒業要件及び履修方法

【機械システム系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目18単位(必修14単位、選択4単位)、系科目47単位(必修39単位、選択8単位)、
 コース科目31単位(機械工学コース:必修9単位、選択22単位、ロボティクス・知能システムコース:必修8単位、選択23単
 位)を修得し、合計126単位以上修得すること。
 なお、機械工学コースのコース選択科目は選択科目A群から12単位以上を修得、かつメカニカルデザイン基礎及び数値シ
 ミュレーションのうちいずれか2単位修得すること。

【環境・社会基盤系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目16単位(必修14単位、選択2単位)、系科目とコース科目とプログラム科目の合計80
 単位(うち系科目必修26単位、コース共通科目必修26単位、土木教育プログラム必修15単位、建築教育プログラム必修2
 2単位、環境マネジメントコース科目必修33単位)を修得し、合計126単位以上修得すること。

【情報・電気・数理データサイエンス系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位以上18単位まで(必修10単位、選択4単位以上8単位まで)、系科目15単位
 以上19単位まで(必修11単位、選択4単位以上8単位まで(各コース4単位の必修科目があります))、コース科目(情報工学
 コース科目:必修43単位、選択16単位以上、ネットワーク工学コース科目:必修14単位、選択45単位以上、エネルギー・エ
 レクトロニクスコース科目:必修14単位、選択45単位以上、数理データサイエンスコース科目:必修18単位、選択41単位
 以上)を修得し、合計126単位以上修得すること。
 なお、ネットワーク工学コース科目とエネルギー・エレクトロニクスコース科目のコース選択科目は選択科目A群から20単位
 以上、B群から20単位以上を修得すること。数理データサイエンスコース科目のコース選択科目は選択科目A群から6単位
 以上、B群から4単位以上、C群から4単位以上を修得すること。

【化学・生命系】
 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位(必修10単位、選択4単位)、系科目43単位(必修34単位、選択9単位)、
 コース科目39単位(応用化学コース科目:必修10単位、選択29単位、生命工学コース科目:必修8単位、選択31単位)を
 修得し、合計126単位以上修得すること。また、TOEIC L&Rが450点以上であること。

※1年間の履修登録単位数の上限は50単位とし、前年度の成績が優秀な学生は、その年度に限り以下のとおり上限単位を
 超過して履修することを認める。
 対象者:前年度に上限単位数の8割以上を修得し、以下の条件を満たす者
 *平均点が80点以上の者…一年間当たり8単位まで増加可能
 *平均点が75点以上80点未満の者…一年間当たり4単位まで増加可能
 注)平均点=各修得科目(得点×単位数)の総和/修得総単位数

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を
 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

--

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<p>・教養教育科目の教員配置の見直しのため、兼任・兼担を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械システム系入門 2→4 環境・社会基盤系入門 4→6 情報・電気・数理データサイエンス系入門 4→3 化学・生命系入門 4→8 語学研修・サマースクール 4→2 海外留学ガイダンス 4→3 語学研修・スプリングコース 4→2 くすりの話 5→4 くすりを考える 4→3 創薬化学 3→5 化学物質って危ないの？ 3→4 人生を変える身体調査 7→5 <p>・教養教育科目の教育課程充実のため、授業科目を追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> 王朝物語の世界3 文化人類学の考え方 自然と人間の共生 史料に親しむ ジェンダーと公正 ビザンツ帝国と地中海世界1 ビザンツ帝国と地中海世界2 イギリスとアイルランドの探偵小説 科学技術史入門 ひとの言葉の起源と進化論 Introduction to audio fiction and podcasts 認知心理学1 認知心理学2 教科書に載らない唐詩 国語教科書を読む 地域の子どものための音楽ワークショップ 乳幼児期の教育 日本中世史から考える権力と秩序 教育の現代的課題 現代の政治思想 法と人間行動 現代社会と法 国際金融入門 ゲーム理論入門 社会ネットワーク分析入門 東アジア近代経済史 日中間論 日本学入門 ハワイ研究入門Ⅰ ハワイ研究入門Ⅱ グローバル社会における日本語教育 Introduction to Development Studies ドイツ語海外研修(夏季) フランス語海外研修(春季) 中国語海外研修(夏季) 中国語海外研修(春季) 韓国語海外研修(夏季) ダイバーシティ&インクルージョン概論 日本サブカルチャー論 レイシズムとエスニシティ研究入門Ⅰ <p>・教育課程の充実のため、専任教員等及び兼任・兼担を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分積分 兼任・兼担3→4 線形代数 准教授3→4, 兼任・兼担3→4 物理学基礎(力学) 准教授4→5, 講師1→0, 兼任・兼担2→3 物理学基礎(電磁気学) 准教授2→3, 兼任・兼担2→1 微分方程式 兼任・兼担1→2 <p>・教員の異動(昇任・採用・退職)及び教員配置の見直しのため、専任教員等の配置を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工学基礎実験実習 教授0→1, 准教授14→12, 助教8→10 工学安全教育 教授2→5, 助教1→0 専門英語 准教授4→5, 講師2→1 プログラミング 准教授6→5, 助教2→4 熱力学Ⅰ 教授0→1, 准教授2→1 電子回路 准教授0→1, 助教1→0 機械システム工学総合実習 教授10→11, 准教授11→12, 助教13→14 特別研究(機械システム系) 教授10→11, 准教授11→12, 助教13→14 機械工学英語 教授1→2, 准教授2→1 熱力学Ⅱ 教授0→1, 准教授1→0 エネルギー工学 教授0→1, 准教授2→1 環境物理化学 教授0→1, 准教授2→1 環境化学 教授0→1, 准教授2→1 土質力学Ⅰ及び演習 教授1→2, 准教授2→1 土質力学Ⅱ 教授0→1, 准教授1→0 特別研究(環境・社会基盤系) 教授12→16, 准教授20→16, 助教1→2 数値解析及び演習 教授1→2, 准教授3→2 土質試験法及び実験 教授0→1, 准教授2→1 地下水工学 教授0→1, 准教授2→1 環境水理学 教授0→1, 准教授2→1 水質学 教授0→1, 准教授2→1 水道工学 教授0→1, 准教授1→0 下水道工学 教授0→1, 准教授1→0 	<ul style="list-style-type: none"> 生命誕生の神秘・いのちの不思議 4→2 数理科学の世界C 2→1 数論化学実験 2→1 教養生物学(応用動植物) 1→2 教養生物学(環境・生態・進化) 3→2 固体地球惑星科学入門 2→3 教養地球科学実験 7→6 基礎地球科学2a 2→3 SDGs: エネルギーとアントロピー 1→2 SDGs: 地球と環境 1→3 SDGs: 基礎地球科学 1→2 SDGs: 気象と水象 1→3 <ul style="list-style-type: none"> レイシズムとエスニシティ研究入門Ⅱ アメリカ合衆国の過去と現在C1 アメリカ合衆国の過去と現在C2 教育における新聞活用の理論と実際 環境と地理 Sociological Imagination Philanthropy and Nonprofit Organizations Global Philanthropy and Comparative Nonprofit Sectors Korean Diaspora からだの仕組み 健やかに生きるための看護 レポートの書き方講座~生物系編~ 成長・老化の人間学 A Practical Guide to Intercultural Communication 細胞学 システム工学で何ができるか 教養現代物理学(一般相対性理論) 教養現代物理学(量子力学) 教養物理学(初等電磁気学)1 教養物理学(初等電磁気学)2 現代化学 基礎微積分学Ⅰ 微積分学Ⅰ 線形代数Ⅰ 現代数学要論Ⅰ 基礎微積分学ⅠⅠ 微積分学ⅠⅠ 線形代数ⅠⅠ 現代数学要論ⅠⅠ 電子物性工学基礎 環境生物学 情報処理及び演習A 情報処理及び演習B 情報処理及び演習C Chemistry for Chemical Engineering Instrumental Analysis Mathematics for Physical Chemistry Introduction to Catalytic Chemistry 日本でLGBT/SOGIの課題を考える 実践デモクラティック・ラーニング <ul style="list-style-type: none"> SDGs: 化学イノベーション 1→2 SDGs: 生命科学 1→4 SDGs: 自然エネルギー利用技術 1→3 SDGs: 循環型社会システム学 1→2 SDGs: 持続可能な社会に向けた岡山のまちづくり事例 3→2 岡山を知る2 2→1 安全衛生入門 3→4 多職種連携と地域包括ケアのワークショップ 2→3 倉敷市水島から学ぶ地域社会と環境 3→2 留学生と学ぶ日本伝統文化 3→2 <ul style="list-style-type: none"> サービスマーケティングA1 サービスマーケティングA2 サービスマーケティングB1 サービスマーケティングB2 SDGs入門 社会参画のデザイン1 地域の未来デザイン 社会参画のデザイン2 対話から学ぶディメンションシップ プロジェクト・ゼロ(実践編) 【学生発表講義1】岡大SDGsコラボレーション ~企業のSDGs活動を知らよう~ サーバントリーダーシップ1 サーバントリーダーシップ2 Applied Educational Research 1 Applied Educational Research 2 Multilingual Marketing and Community Connection 1 Multilingual Marketing and Community Connection 2 地域文化資源活用実践演習 交流による子どもの成長支援Ⅱ 対話による社会参画入門上級編 SDGs実践チームビルディング ~シェアド・リーダーシップを鍛えよう~ プロジェクト・ゼロ(目標達成プログラム) アントレプレナーシップⅠ アントレプレナーシップⅡ アントレプレナーのための経営戦略概論(基本編) アントレプレナーのための経営戦略概論(応用編) ベネッセアートサイト直島に作品が設置されるまで-豊島実習- 美術の見方、楽しみ方 近代日本美術の歴史と世界 数値・データサイエンスの基礎演習A フィールドワークで学ぶビジネス入門 ウェルネス入門 1 (日本文化) ウェルネス入門 2 (日本文化) コミュニティ・サービス入門1 コミュニティ・サービス入門2 ライフスキル入門 人間関係の心理学 Self exploration through Creativity 感情的知性入門
---	---

(注) 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開講であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計		
188 科目	747 科目	70 科目	1005 科目	188 科目	687 科目	68 科目	943 科目	[0] [△60] [△2] [△62]	

(注) 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	生活の中のテクノロジー	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
2	学校と教師の役割を考える	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
3	教育行政の基礎	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
4	教育と国家	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
5	アウグスティヌスと西洋倫理思想	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
6	王朝物語の世界 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
7	日本語の語彙と文法	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
8	ひとのことばの起源と進化 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
9	ひとのことばの起源と進化 2	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
10	日本語史の諸問題 2	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
11	S F映画における人間記憶のモデル	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
12	ジェンダーを考える	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
13	セクシュアリティの文化史 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
14	第三帝国(ナチス・ドイツ)の歴史	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
15	西洋外交史(近代編)	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
16	地理学基礎論	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
17	地理学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
18	社会心理学 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
19	仏教と臨床心理学	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
20	対人支援職のための精神医学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
21	人間関係論入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
22	教育心理学	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
23	発達心理学概論	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
24	万葉集を読む	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
25	日本の刑事裁判	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
26	家族のもめごとと法	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
27	政治学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
28	経済学基礎	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
29	財政学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
30	働くことと社会保障	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
31	企業経営と金融市場	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
32	マーケティング論	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
33	教育経済学	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
34	科学技術史	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
35	日本語教育とマルチメディア	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
36	アニメ：ジブリアニメから学ぶ日本	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
37	バリアフリーとアクセシビリティ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
38	開発学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
39	ジェンダーと開発	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
40	日本建築史（古代、中近世）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
41	日本建築史（近代、現代）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
42	現代日本におけるジェンダー	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
43	ジェンダーで日本経済を考える	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
44	グローバル社会の地域研究入門（アジア・太平洋諸島）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
45	中経ワークショップ：東アジア人材育成留学体験入門コース	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
46	Principles of Management	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
47	Global Sociology: Understanding Diversity	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
48	Cross-Cultural Experiences	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
49	Giving and Volunteering	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
50	言葉と創作	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
51	ドイツ語海外研修	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
52	韓国語海外研修	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
53	中国語海外研修	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
54	フランス語海外研修	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
55	和食入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
56	日本企業におけるコミュニケーション	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
57	フィールド・チャレンジB3	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
58	教育における新聞活用の理論と実際（1）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
59	教育における新聞活用の理論と実際（2）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
60	対話による社会参画入門（1）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
61	対話による社会参画入門（2）	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
62	国際政治入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
63	国際保健システム論	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
64	社会福祉論	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
65	政治学 a	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
66	政治学 b	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
67	細胞の増え方I	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
68	細胞の増え方II	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
69	化学のおもちゃ箱	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
70	健やかに生きるための疾病論	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
71	レポートの書き方講座～生物系編～	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
72	いざというとき、備えないために～危機管理と対応法～	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
73	哲学面・倫理面・制度面からライフサイエンスを考える	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
74	医学生物学	1.4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
75	基礎医学入門	1.4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
76	医学概論	0.4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
77	遺伝学	0.4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
78	臨床医学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
79	基礎放射線学	0.7	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
80	発生学	0.7	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
81	医学統計学	1.4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
82	人体の構造：入門	1.4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
83	形態・機能学Ⅰ	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
84	基礎遺伝子学	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
85	国際環境・衛生論	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
86	生体材料学Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
87	細胞生物学	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
88	数理科学ゼミナール	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
89	数理科学の世界Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
90	統計学入門(自然・生命)Ⅰ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
91	統計学入門(自然・生命)Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
92	教養現代物理学(量子力学)Ⅰ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
93	システム工学で何ができるかⅠ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
94	教養現代物理学(量子力学)Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
95	システム工学で何ができるかⅡ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
96	教養現代物理学(相対性理論)Ⅰ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
97	教養現代物理学(相対性理論)Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
98	現代化学Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
99	教養生物学(基礎生物学)Ⅰ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
100	教養生物学(基礎生物学)Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
101	地球環境科学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
102	水と土	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
103	地層と化石	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
104	コンピュータ科学入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
105	情報数学	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
106	自然災害と環境問題	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
107	サステイナブル・キャンパスを目指して	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
108	現代の環境問題と科学・技術	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
109	新世紀の自然と科学Ⅰ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
110	基礎微分積分学Ⅰa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
111	基礎微分積分学Ⅰb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
112	基礎物理学Ⅰa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
113	基礎物理学Ⅰb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
114	微分積分学Ⅰa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
115	微分積分学Ⅰb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
116	線形代数学Ⅰa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
117	線形代数学Ⅰb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
118	現代数学要論Ⅰa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
119	現代数学要論Ⅰb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
120	基礎微分積分学ⅠⅠa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
121	基礎微分積分学ⅠⅠb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
122	基礎物理学Ⅱa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
123	基礎物理学Ⅱb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
124	微分積分学ⅠⅠa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
125	微分積分学ⅠⅠb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
126	線形代数学ⅠⅠa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
127	線形代数学ⅠⅠb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
128	基礎地球科学Ⅰa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
129	現代数学要論ⅠⅠa	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
130	現代数学要論ⅠⅠb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
131	基礎地球科学Ⅰb	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
132	感染免疫学	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
133	情報数理学 I	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
134	情報数理学 I I	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
135	医用工学入門	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
136	薬用植物学	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
137	基礎微生物学 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
138	基礎微生物学 2	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
139	岡山市の魅力の世界に伝える活動	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
140	コミュニティ・ベースド・ラーニングのデザインⅠ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
141	郷土の歴史から学ぶ財政論	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
142	地域高齢者と介護 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
143	実践型教育/学習概論 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
144	フィールド調査の基礎を学ぶ スペシャル	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
145	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅰ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
146	支え隊～子どもの安全・安心のために～	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
147	「妊娠・子育て」を考える	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
148	地域高齢者と介護 2	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
149	フィールド調査の基礎を学ぶ デラックス	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
150	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅱ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
151	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
152	実践型まちづくり論 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
153	小中学生の協同教育のための教材開発	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
154	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅳ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
155	交流による子どもの成長支援ⅠⅠ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
156	創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
157	実践型まちづくり論 2	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
158	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動Ⅴ	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
159	サービスラーニング 1	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
160	サービスラーニング 2	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
161	桃太郎・桃子チャレンジ ～知識を社会に・経験を学びに～	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
162	地域に根ざす女性・子ども応援講座	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
163	子どもの教育と福祉をつなげる支援活動ⅠⅠⅠ	2	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
164	実践デモクラティック・ラーニング 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
165	国際インターンシップ	3	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
166	国際インターンシップ	4	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
167	ボランティア学習論	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
168	災害復興のまちづくり論 1	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
169	アントレプレナーシップ入門-グローバル市場における最先端の起業家精神	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
170	革新的起業と先端技術-世界を変えるイノベーション	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
171	アントレプレナーの戦略的思考	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
172	アントレプレナーの事業開発方法	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
173	岡山まちづくり論 (2)	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
174	ベネッセアートサイト直島に作品が設置されるまで	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
175	日本の古美術	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
176	ビジネスパーソン入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
177	障がい学生支援入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
178	ウェルネス入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
179	コミュニティ・サービス入門	1	1~2①②③④	一般	選択	教養教育科目のカリキュラム再編のため。代替措置はなし。
180	アートとコミュニケーションA	1	2①	一般	自由	教育課程の整備のため。代替措置はなし。

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
181	アートとコミュニケーションB	1	2②	一般	自由	教育課程の整備のため。代替措置はなし。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 廃止科目 1 番から 179 番について、教養教育科目は年度ごとに時間割編成を行うため、毎年度、開講科目に変更が生じるが、学生が履修する上で不利益とならないよう、科目数及び履修可能人数を確保している。なお、学生には「教養教育科目授業時間表」をHP上に公開することで周知している。

・ 廃止科目 180 番から 181 番については、履修希望者がいないことによる教育課程の整備のため廃止とする。なお、学生には履修案内等で開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{181}{1005} = \boxed{18}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	用地(ヨットハーバー)借用契約終了のため(3)		
	校舎敷地	668,725㎡	0㎡	0㎡	668,725㎡			
	運動場用地	92,955㎡	0㎡	0㎡	92,955㎡			
	小 計	761,680㎡	0㎡	0㎡	761,680㎡			
	そ の 他	44,279㎡ 44,269㎡	0㎡	0㎡	44,279㎡ 44,269㎡			
	合 計	805,959㎡ 805,949㎡	0㎡	0㎡	805,959㎡ 805,949㎡			
(2) 校 舎	専 用	359,159㎡ 364,074㎡	共 用	共用する他の学校等の専用	計	異分野研究所棟竣工のため(3)		
	(359,159㎡) (364,074㎡)	()	()	()	359,159㎡ 364,074㎡ (359,159㎡) (364,074㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 退職のため(3)		
	163室	150室	296室	21室 12 (補助職員11人)	3室 (補助職員1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部 工学科			217 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位で特定不明なため、大学全体の数(標本を除く)購入・廃棄のため(3)
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	工学部工学科	2,025,571 [669,235] 2,011,238 [663,655] (2,025,571 [669,235]) (2,011,238 [663,655])	50,775 [17,673] 76,767 [42,945] (50,775 [17,673]) (76,767 [42,945])	22,988 [22,983] 25,061 [23,629] (22,988 [22,983]) (25,061 [23,629])	5,600 5,591 (5,600) (5,591)	12,187 12,815 (12,187) (12,815)	(0)	
計	2,025,571 [669,235] 2,011,238 [663,655] (2,025,571 [669,235]) (2,011,238 [663,655])	50,775 [17,673] 76,767 [42,945] (50,775 [17,673]) (76,767 [42,945])	22,988 [22,983] 25,061 [23,629] (22,988 [22,983]) (25,061 [23,629])	5,600 5,591 (5,600) (5,591)	12,187 12,815 (12,187) (12,815)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	20,813㎡		1,573席	1,521,389冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	10,782㎡		陸上競技場, 野球場, テニスコート, 弓道場, プール等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学					平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	8	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員						
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部					学士(文学)	1.03	1.05				
人文学科	4	175	-	700		1.03	1.05		平成16	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
教育学部					学士(教育学)	0.99	0.98				
学校教育教員養成課程	4	250	-	1,000		0.99	0.98		平成11	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
養護教諭養成課程	4	30	-	120		1.00	1.00		昭和53		
法学部					学士(法学)	1.03	1.04				
法学科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
昼間コース	4	205	-	820		1.03	1.04		平成16		
夜間主コース	4	20	-	80		1.06	1.05		平成16		
経済学部					学士(経済学)	1.02	1.04				
経済学科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
昼間コース	4	205	-	820		1.02	1.05		平成16		
夜間主コース	4	40	-	160		1.05	1.00		平成16		
理学部					学士(理学)	1.04	1.05				
数学科	4	20	3年次9	98		1.01	1.10		平成7	岡山市北区津島中三丁目1番1号	令和3年度より3年次編入学定員改訂 共通 20→0 数学科 0→9 物理学科 0→8 化学科 0→5 生物学科 0→5 地球科学科 0→3
物理学科	4	35	3年次8	156		1.05	1.05		平成7		
化学科	4	30	3年次5	130		1.05	1.06		平成7		
生物学科	4	30	3年次5	130		1.03	1.00		平成7		
地球科学科	4	25	3年次3	106		1.06	1.04		平成7		
医学部					学士(医学)	0.99	0.97				
医学科	6	112	2年次5	703	学士(看護学)	0.99	0.96	令和2年度	昭和24	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	令和3年度より3年次編入学学生募集停止
保健学科					学士(保健学)	0.98	0.98				
看護学専攻	4	80	-	320		0.97	0.96		平成10		
放射線技術科学専攻	4	40	-	160		0.99	1.00		平成10		
検査技術科学専攻	4	40	-	160		1.01	1.00		平成10		
歯学部					学士(歯学)	1.00	1.00				
歯学科	6	48	2年次5	313		1.00	1.00		昭和54	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学)	1.04	1.07				
薬学科	6	40	-	240	学士(創薬科学)	1.03	1.05		平成18	岡山市北区津島中一丁目1番1号	
創薬科学科	4	40	-	160		1.05	1.10		平成18		
工学部					学士(工学)	1.03	1.03				
工学科	4	610	3年次30	2,500		1.03	1.03		令和3	岡山市北区津島中三丁目1番1号	令和3年度より学生募集停止
機械システム系学科	4	-	-	-		-	-		平成23		
電気通信系学科	4	-	-	-		-	-		平成23		
情報系学科	4	-	-	-		-	-		平成23		
化学生命系学科	4	-	-	-		-	-		平成23		
環境理工学部					学士(環境理工学)	-	-				
環境数理学科	4	-	-	-		-	-		平成6	岡山市北区津島中三丁目1番1号	令和3年度より学生募集停止
環境デザイン工学科	4	-	-	-		-	-		平成6		
環境管理工学科	4	-	-	-		-	-		平成6		

環境物質工学科	4	-	-	-		-	-		平成6	
農学部					学士 (農学)	1.04	1.06			昭山市北区津島中一丁目1番1号
総合農業科学科	4	120	-	480		1.04	1.06		昭和61	
大学全体		2,195	2年次10 3年次60	9,356	-	1.01	1.02	-	-	-

大学の名称	岡山大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
教育学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)					修士(教育学)	1.17	1.16				
教育科学専攻	2	37	-	74		1.17	1.16		平成30		
教科教育学専攻	2	-	-	-		-	-		平成20		平成30年度より学生募集停止
(専門職学位課程)					教職修士(専門職)	0.81	0.62				
教職実践専攻	2	45	-	90		0.81	0.62		平成30		
社会文化科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)					修士(文学)	0.90	0.75				
国際社会専攻	2	14	-	28	修士(法学)	0.71	0.57		平成30		
日本・アジア文化専攻	2	12	-	24	修士(経済学)	1.20	1.00		平成30		
人間社会文化専攻	2	30	-	60	修士(経営学)	0.86	0.70		平成30		
法政理論専攻	2	15	-	30	修士(文化科学)	0.36	0.20		平成30		
経済理論・政策専攻	2	6	-	12	修士(学術)	1.74	1.66		平成30		
組織経営専攻	2	11	-	22		1.18	1.09		平成18		平成30年度から定員減 14→11
社会文化基礎学専攻	2	-	-	-		-	-		平成16		平成30年度より学生募集停止
比較社会文化学専攻	2	-	-	-		-	-		平成16		
(博士後期課程)					博士(文学)	0.99	1.16				
社会文化学専攻	3	12	-	36	博士(法学)	0.99	1.16		平成16		
自然科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)					修士(理学)	1.07	1.12				
数理物理学専攻	2	38	-	76	修士(工学)	0.85	0.84		平成11		
分子科学専攻	2	24	-	48	修士(学術)	0.76	0.70		平成17		
生物科学専攻	2	22	-	44		1.06	1.09		平成17		
地球科学専攻	2	16	-	32		0.68	0.87		平成11		
機械システム工学専攻	2	98	-	196		1.23	1.21		平成11		
電子情報システム工学専攻	2	90	-	180		1.16	1.33		平成11		
応用化学専攻	2	50	-	100		1.04	1.06		平成27		
(博士後期課程)					博士(理学)	0.64	0.60				
数理物理学専攻	3	6	-	18	博士(工学)	0.55	0.33		平成24		平成30年度から定員減 10→6
地球生命物質科学専攻	3	11	-	33	博士(学術)	0.33	0.27		平成24		平成30年度から定員減 17→11
学際基礎科学専攻	3	10	-	30		0.80	0.60		平成30		
産業創成工学専攻	3	18	-	54		0.72	0.61		平成17		平成30年度から定員減 21→18
応用化学専攻	3	5	-	15		0.86	1.60		平成27		平成30年度から定員減 7→5
化学生命工学専攻	3	-	-	-		-	-		平成24		平成27年度より学生募集停止
生命医用工学専攻	3	-	-	-		-	-		平成27		平成30年度より学生募集停止
(博士課程)5年一貫制					博士(理学)	0.65	0.25				
地球惑星物質科学専攻	5	4	-	20	博士(学術)	0.65	0.25		平成21		
保健学研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(博士前期課程)					修士(看護学)	1.09	1.19				
保健学専攻	2	26	-	52	修士(保健学)	1.09	1.19		平成15		
(博士後期課程)					博士(看護学)	1.06	0.90				
保健学専攻	3	10	-	30	博士(保健学)	1.06	0.90		平成17		

環境生命科学研究所										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学)	0.91	0.97					
社会基盤環境学専攻	2	30	-	修士(工学)	1.05	1.40	平成24				
生命環境学専攻	2	23	-	修士(環境学)	0.69	0.47	平成24				
資源循環学専攻	2	43	-	修士(農学)	0.87	0.88	平成24				
生物資源科学専攻	2	25	-	修士(学術)	1.22	1.24	平成24				
生物生産科学専攻	2	38	-	60	0.78	0.86	平成24				
(博士後期課程)				博士(理学)	0.63	0.42					
環境科学専攻	3	22	-	博士(工学)	0.57	0.36	平成24				
農生命科学専攻	3	20	-	博士(環境学)	0.70	0.50	平成24				
				博士(農学)							
				博士(学術)							
医歯薬学総合研究科										岡山市北区備田町二丁目5番1号	
(修士課程)				修士(医科学)	0.95	0.75					
医歯科学専攻	2	20	-	修士(公衆衛生学)	0.95	0.75	平成17				
				修士(歯科学)							
				修士(学術)							
(博士前期課程)					0.78	0.67					
薬科学専攻	2	37	-	74	0.78	0.67	平成22			平成30年度から定員減 40→37	
(博士後期課程)				博士(薬科学)	0.44	0.55					
薬科学専攻	3	9	-	27	0.44	0.55	平成24			平成30年度から定員減 10→9	
(博士課程)				博士(医学)	1.03	0.81					
生体制御科学専攻	4	25	-	100	1.19	0.76	平成17				
病態制御科学専攻	4	62	-	248	1.01	0.77	平成17				
機能再生・再建科学専攻	4	28	-	112	0.95	0.85	平成17				
社会環境生命科学専攻	4	13	-	52	1.03	1.00	平成17				
ヘルスシステム統合科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(統合科学)	1.06	1.02					
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	-	160	1.06	1.02	平成30				
(博士後期課程)				博士(統合科学)	0.78	0.43					
ヘルスシステム統合科学専攻	3	16	-	48	0.78	0.43	平成30				
法務研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(専門職学位課程)				法務博士(専門職)	0.70	0.58					
法務専攻	3	24	-	72	0.70	0.58	平成16			平成29年度から定員減 30→24	
大学院全体		1,125	-	2,681	0.93	0.91	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤井 正浩 <令和3年4月> 工学博士 機械システム工学総合実習 特別研究 機械設計学 機構デザイン学 メカニカルデザイン基礎
		堀部 明彦 <令和3年4月> 博士(工学) 専門英語 流体力学I 機械システム工学総合実習 特別研究 伝熱学 潜熱移動学
専	教授	多田 直哉 <令和3年4月> 博士(工学) 材料力学I 機械システム工学総合実習 特別研究 メカニカルデザイン基礎
		大橋 一仁 <令和3年4月> 博士(工学) 機械工作法 機械システム工学総合実習 特別研究 機械加工学
専	教授	岡田 晃 <令和3年4月> 博士(工学) 専門英語 機械工作実習I 機械工作実習II 機械工作法 機械システム工学総合実習 特別研究 機械工学英語 特殊加工学

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤井 正浩 <令和3年4月> 工学博士 機械システム工学総合実習 特別研究 機械設計学 機構デザイン学 メカニカルデザイン基礎
		堀部 明彦 <令和3年4月> 博士(工学) 専門英語 流体力学I 機械システム工学総合実習 特別研究 伝熱学 潜熱移動学
専	教授	多田 直哉 <令和3年4月> 博士(工学) 材料力学I 機械システム工学総合実習 特別研究 メカニカルデザイン基礎
		大橋 一仁 <令和3年4月> 博士(工学) 機械工作法 機械システム工学総合実習 特別研究 機械加工学
専	教授	岡田 晃 <令和3年4月> 博士(工学) 専門英語 機械工作実習I 機械工作実習II 機械工作法 機械システム工学総合実習 特別研究 機械工学英語 特殊加工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡安 光博 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(加国)
		線形代数 機械システム工学総合実習 特別研究 工業力学 材料応用学
専	教授	西 竜志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究
専	教授	平田 健太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		システム制御Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 ロボティクス基礎 システム制御Ⅱ
専	教授	神田 岳文 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 振動工学 機械システム工学総合実習 特別研究 重積分 工業力学 メカトロニクス基礎Ⅰ メカトロニクス基礎Ⅱ
専	教授	西山 哲 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 測量学Ⅱ及び実習※ 特別研究
専	教授	綾野 克紀 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		キャリア形成論 特別研究 コンクリート構造設計学Ⅰ及び 演習※ コンクリート構造設計学Ⅱ※ 構造材料学※ 材料試験法及び実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡安 光博 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(加国)
		線形代数 機械システム工学総合実習 特別研究 工業力学 材料応用学
専	教授	西 竜志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学安全教育※ 機械システム工学総合実習 特別研究
専	教授	平田 健太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		システム制御Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 ロボティクス基礎 システム制御Ⅱ
専	教授	神田 岳文 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 振動工学 機械システム工学総合実習 特別研究 重積分 工業力学 メカトロニクス基礎Ⅰ メカトロニクス基礎Ⅱ
専	教授	西山 哲 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 測量学Ⅱ及び実習※ 特別研究
専	教授	綾野 克紀 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		キャリア形成論 特別研究 コンクリート構造設計学Ⅰ及び 演習※ コンクリート構造設計学Ⅱ※ 構造材料学※ 材料試験法及び実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤原 健史 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境影響評価学
専	教授	前田 守弘 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 土壌科学概論 土壌環境実験※ 土壌圏管理学
専	教授	森 也寸志 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 土壌物理学 生産基盤管理学 土壌環境実験※
専	教授	守田 秀則 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		測量学Ⅰ及び実習※ 測量学Ⅱ及び実習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習
専	教授	諸泉 利嗣 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水資源利用学
専	教授	近森 秀高 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		水理学及び演習※ キャリア形成論 インターンシップ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 流域水文学 水利設計学 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤原 健史 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境影響評価学
専	教授	前田 守弘 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 土壌科学概論 土壌環境実験※ 土壌圏管理学
専	教授	森 也寸志 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 土壌物理学 生産基盤管理学 土壌環境実験※
専	教授	守田 秀則 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		測量学Ⅰ及び実習※ 測量学Ⅱ及び実習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習
専	教授	諸泉 利嗣 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水資源利用学
専	教授	近森 秀高 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		水理学及び演習※ キャリア形成論 インターンシップ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 流域水文学 水利設計学 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西村 伸一 <令和3年4月> 博士(農学)
		土質力学Ⅰ及び演習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境施設設計学 環境施設材料学
専	教授	竹本 真紹 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	教授	金 錫範 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理学基礎(電磁気学) 特別研究 ベクトル解析(N・E・E) 回路過渡解析 パワーエレクトロニクス
専	教授	平木 英治 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学安全教育 特別研究 回路理論B 電気機器学A 電気機器学B
専	教授	紀和 利彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理学基礎(力学) 特別研究 半導体・デバイス工学
専	教授	林 靖彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 線形代数B 電子物性工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西村 伸一 <令和3年4月> 博士(農学)
		土質力学Ⅰ及び演習※ 土質力学Ⅱ※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境施設設計学 環境施設材料学
専	教授	竹本 真紹 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	教授	金 錫範 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理学基礎(電磁気学) 特別研究 ベクトル解析(N・E・E) 回路過渡解析 パワーエレクトロニクス
専	教授	平木 英治 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学安全教育 特別研究 回路理論B 電気機器学A 電気機器学B
専	教授	紀和 利彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理学基礎(力学) 特別研究 半導体・デバイス工学
専	教授	林 靖彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 線形代数B 電子物性工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鶴田 健二 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		微分方程式 特別研究 電子物性工学基礎
専	教授	深野 秀樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 電子回路A 電子回路B オプトエレクトロニクス
専	教授	横平 徳美 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		特別研究 データ構造とアルゴリズム コンピュータネットワークA マルチメディア工学 コンピュータネットワークB
専	教授	上原 一浩 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 特別研究 電波工学
専	教授	田野 哲 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 特別研究 デジタル信号処理(NE・E E)
専	教授	船曳 信生 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 セキュリティ実践論 グラフ理論(NE) 情報化社会と技術
専	教授	豊田 啓孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 フーリエ解析・ラプラス変換 回路理論A 微分積分B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鶴田 健二 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		微分方程式 特別研究 電子物性工学基礎
専	教授	深野 秀樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 電子回路A 電子回路B オプトエレクトロニクス
専	教授	横平 徳美 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		特別研究 データ構造とアルゴリズム コンピュータネットワークA マルチメディア工学 コンピュータネットワークB
専	教授	上原 一浩 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 特別研究 電波工学
専	教授	田野 哲 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 工学安全教育 特別研究 デジタル信号処理(NE・E E)
専	教授	船曳 信生 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 セキュリティ実践論 グラフ理論(NE) 情報化社会と技術
専	教授	豊田 啓孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 フーリエ解析・ラプラス変換 回路理論A 微分積分B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野上 保之 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 論理回路 ネットワークプログラミング実 験 セキュリティ概論 確率統計論
専	教授	諸岡 健一 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 人工知能 画像処理 映像メディア処理
専	教授	阿部 匡伸 <令和3年4月> 博士(工学)
		技術表現法 特別研究 デジタル信号処理(情報) 情報化における職業1※ 情報化における職業2※
専	教授	太田 学 <令和3年4月> 博士(工学)
		専門英語 プログラミング 特別研究 応用解析 コンピュータアーキテクチャⅡ
専	教授	高橋 規一 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 統計データ解析基礎 グラフ理論(情報) コンピュータアーキテクチャⅠ 応用数学 プログラミング言語※ 応用線形代数
専	教授	門田 暁人 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 コンピュータハードウェア ソフトウェア設計 データベース オートマトンと言語理論 ソフトウェア工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野上 保之 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 論理回路 ネットワークプログラミング実 験 セキュリティ概論 確率統計論
専	教授	諸岡 健一 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 人工知能 画像処理 映像メディア処理
専	教授	阿部 匡伸 <令和3年4月> 博士(工学)
		技術表現法 特別研究 デジタル信号処理(情報) 情報化における職業1※ 情報化における職業2※
専	教授	太田 学 <令和3年4月> 博士(工学)
		専門英語 プログラミング 数理・データサイエンス(発 展) 特別研究 応用解析 コンピュータアーキテクチャⅡ
専	教授	高橋 規一 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 統計データ解析基礎 グラフ理論(情報) コンピュータアーキテクチャⅠ 応用数学 プログラミング言語※ 応用線形代数
専	教授	門田 暁人 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 コンピュータハードウェア ソフトウェア設計 データベース オートマトンと言語理論 ソフトウェア工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石原 卓 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 数値計算法※ 数理プログラミング2 複素関数論 数値シミュレーション基礎 数値シミュレーション応用 データ駆動計算基礎※ データ駆動計算応用※ 数理モデリング特論B【隔年】 ※
専	教授	坂本 亘 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		数理・データサイエンス(発展) 特別研究 統計データ解析基礎 数理統計学 ベイズ統計基礎※ 統計モデリング 計算統計学B※ 機械学習入門※ データ管理方法論※ インターンシップ(長期) インターンシップ(短期)
専	教授	藤井 達生 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		量子化学※ 特別演習 特別研究 無機化学3※ 無機化学4※ 無機工業化学※
専	教授	岸本 昭 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		化学基礎※ 数理・データサイエンス(発展) 無機化学1 特別演習 特別研究 無機化学4※ 応用化学各論4
専	教授	後藤 邦彰 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理化学2 工業材料1 特別演習 特別研究 化学装置設計製図 応用化学各論5

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石原 卓 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 数値計算法※ 数理プログラミング2 複素関数論 数値シミュレーション基礎 数値シミュレーション応用 データ駆動計算基礎※ データ駆動計算応用※ 数理モデリング特論B【隔年】 ※
専	教授	坂本 亘 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		数理・データサイエンス(発展) 特別研究 統計データ解析基礎 数理統計学 ベイズ統計基礎※ 統計モデリング 計算統計学B※ 機械学習入門※ データ管理方法論※ インターンシップ(長期) インターンシップ(短期)
専	教授	藤井 達生 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		量子化学※ 特別演習 特別研究 無機化学3※ 無機化学4※ 無機工業化学※
専	教授	岸本 昭 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		化学基礎※ 数理・データサイエンス(発展) 無機化学1 特別演習 特別研究 無機化学4※ 応用化学各論4
専	教授	後藤 邦彰 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学基礎※ 物理化学2 工業材料1 特別演習 特別研究 化学装置設計製図 応用化学各論5

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 努 <令和3年4月> 博士(工学)
		化学基礎※ 特別演習 特別研究 物理化学3 化学工学2
専	教授	今村 維克 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理化学2 化学工学1 特別演習 特別研究 化学工学2 応用化学各論6
専	教授	菅 誠治 <令和3年4月> 博士(理学)
		数理・データサイエンス(発展) 有機化学1 機能分子化学 特別演習 特別研究 有機工業化学※ 応用化学各論1
専	教授	依馬 正 <令和3年4月> 博士(工学)
		有機化学2 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 特別演習 特別研究 応用化学各論2
専	教授	坂倉 彰 <令和3年4月> 博士(学術)
		化学基礎※ 有機化学1 インターンシップ 特別演習 特別研究 有機化学5 応用化学各論3
専	教授	難波 徳郎 <令和3年4月> 工学博士
		特別演習 特別研究 無機化学3※ 無機工業化学※ 工業材料2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 努 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別演習 特別研究 物理化学3 化学工学2
専	教授	今村 維克 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理化学2 化学工学1 特別演習 特別研究 化学工学2 応用化学各論6
専	教授	菅 誠治 <令和3年4月> 博士(理学)
		有機化学1 機能分子化学 特別演習 特別研究 有機工業化学※ 応用化学各論1
専	教授	依馬 正 <令和3年4月> 博士(工学)
		有機化学1 有機化学2 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 特別演習 特別研究 応用化学各論2
専	教授	坂倉 彰 <令和3年4月> 博士(学術)
		有機化学1 インターンシップ 特別演習 特別研究 有機化学5 応用化学各論3
専	教授	難波 徳郎 <令和3年4月> 工学博士
		特別演習 特別研究 無機化学3※ 無機工業化学※ 工業材料2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	亀島 欣一 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別演習 特別研究 無機化学5※
専	教授	木村 幸敬 <令和3年4月> 農学博士
		数理・データサイエンス(発展) 物理化学1 特別演習 特別研究 物理化学3
専	教授	世良 貴史 <令和3年4月> 博士(工学)
		生化学1 特別演習 特別研究 生化学4※ 蛋白質工学 生命工学各論2
専	教授	井出 徹 <令和3年4月> 博士(理学)
		生物学基礎※ 生化学2 特別演習 特別研究 バイオナノテクノロジー 生命工学各論4
専	教授	徳光 浩 <令和3年4月> 医学博士
		生物学基礎※ 技術表現法※ 特別演習 特別研究 生化学3 分子生物学 生命工学各論3
専	教授	早川 聡 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学安全教育※ 無機化学2 特別演習 特別研究 無機化学3※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	亀島 欣一 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別演習 特別研究 無機化学5※
専	教授	木村 幸敬 <令和3年4月> 農学博士
		数理・データサイエンス(発展) 物理化学1 特別演習 特別研究 物理化学3
専	教授	世良 貴史 <令和3年4月> 博士(工学)
		生化学1 特別演習 特別研究 生化学4※ 蛋白質工学 生命工学各論2
専	教授	井出 徹 <令和3年4月> 博士(理学)
		生物学基礎※ 生化学2 特別演習 特別研究 バイオナノテクノロジー 生命工学各論4
専	教授	徳光 浩 <令和3年4月> 医学博士
		生物学基礎※ 技術表現法※ 特別演習 特別研究 生化学3 分子生物学 生命工学各論3
専	教授	早川 聡 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学安全教育※ 無機化学2 特別演習 特別研究 無機化学3※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大槻 高史 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		生物学基礎※ 特別演習 特別研究 生化学4※ 遺伝子工学 生命工学各論1
専	教授	河内 俊憲 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		ベクトル・複素解析 流体力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 流体力学Ⅱ
専	教授	比江島 慎二 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		インターンシップ 特別研究 数値解析及び演習※ 振動学及び演習 鋼構造設計学及び演習
専	教授	橋本 成仁 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		技術表現法 特別研究 CAD及びIoT技術※ 交通まちづくり計画学 計画数理 道路政策論 都市解析学 計画学演習※
専	教授	佐々木 徹 ＜令和3年4月＞ 博士(数理科学)
		特別研究 数値計算法※ 微分積分統論及び演習1 微分積分統論及び演習2 常微分方程式と数理モデル 偏微分方程式とその応用 数理モデリング特論A【隔年】 ※
専	教授	鳴海 大典 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 建設施工学 建築環境工学 建築設備

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大槻 高史 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		生物学基礎※ 特別演習 特別研究 生化学4※ 遺伝子工学 生命工学各論1
専	教授	河内 俊憲 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		ベクトル・複素解析 流体力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 流体力学Ⅱ
専	教授	比江島 慎二 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		インターンシップ 特別研究 数値解析及び演習※ 振動学及び演習 鋼構造設計学及び演習
専	教授	橋本 成仁 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		技術表現法 特別研究 CAD及びIoT技術※ 交通まちづくり計画学 計画数理 道路政策論 都市解析学 計画学演習※
専	教授	佐々木 徹 ＜令和3年4月＞ 博士(数理科学)
		特別研究 数値計算法※ 微分積分統論及び演習1 微分積分統論及び演習2 常微分方程式と数理モデル 偏微分方程式とその応用 数理モデリング特論A【隔年】 ※
専	教授	鳴海 大典 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 建設施工学 建築環境工学 建築設備

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹元 嘉利 <令和3年4月> 博士(工学) 工学安全教育※ 物理学基礎(電磁気学) 機械システム工学総合実習 特別研究 材料工学
専	准教授	河原 伸幸 <令和3年4月> 博士(工学) 熱力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 機械工学英語 熱力学Ⅱ エネルギー工学
専	准教授	塩田 忠 <令和3年4月> 博士(工学) 基本機械システム製図 振動工学 機械システム工学総合実習 特別研究 CAD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 実 <令和3年4月> 博士(情報工学) 特別研究
専	教授	三浦 智也 <令和3年4月> 博士(理学) 化学基礎※ 有機化学Ⅰ 特別演習 特別研究
専	教授	大林 一平 <令和3年4月> 博士(理学) 特別研究
専	准教授	竹元 嘉利 <令和3年4月> 博士(工学) 工学安全教育※ 物理学基礎(電磁気学) 機械システム工学総合実習 特別研究 材料工学
専	教授	河原 伸幸 <令和3年4月> 博士(工学) 熱力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 機械工学英語 熱力学Ⅱ エネルギー工学
専	准教授	塩田 忠 <令和3年4月> 博士(工学) 物理学基礎(力学) 基本機械システム製図 振動工学 機械システム工学総合実習 特別研究 CAD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	上森 武 <令和3年4月> 博士(工学)
		基本機械システム製図 材料力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 材料力学Ⅱ 数値シミュレーション※ 塑性工学 CAD
専	准教授	岡本 康寛 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習 専門英語 物理学基礎(力学) 機械工作実習Ⅰ 機械工作実習Ⅱ 機械システム工学総合実習 特別研究 インターンシップ 機械工学英語
専	准教授	高橋 智 <令和3年4月> 博士(工学)
		プログラミング 微分方程式 機械システム工学総合実習 特別研究 計測工学
専	准教授	佐藤 治夫 <令和3年4月> 博士(工学)
		プログラミング 機械工作実習Ⅰ 熱力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 インターンシップ 工学実践英語Ⅰ 工学実践英語Ⅱ ロボットビジョン エネルギー環境システム基礎論
専	准教授	柳川 佳也 <令和3年4月> 博士(工学)
		数理・データサイエンス(発展) フーリエ・ラプラス変換 機械システム工学総合実習 特別研究 生産システム学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	上森 武 <令和3年4月> 博士(工学)
		基本機械システム製図 材料力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 材料力学Ⅱ 数値シミュレーション※ 塑性工学 CAD
専	准教授	岡本 康寛 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習 専門英語 物理学基礎(力学) 機械工作実習Ⅰ 機械工作実習Ⅱ 機械システム工学総合実習 特別研究 インターンシップ 機械工学英語
専	准教授	高橋 智 <令和3年4月> 博士(工学)
		プログラミング 微分方程式 機械システム工学総合実習 特別研究 計測工学
専	准教授	佐藤 治夫 <令和3年4月> 博士(工学)
		機械工作実習Ⅰ 熱力学Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 インターンシップ 工学実践英語Ⅰ 工学実践英語Ⅱ ロボットビジョン エネルギー環境システム基礎論
専	准教授	柳川 佳也 <令和3年4月> 博士(工学)
		数理・データサイエンス(発展) フーリエ・ラプラス変換 機械システム工学総合実習 特別研究 生産システム学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松野 隆幸 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 ベクトル・複素解析 機械工作実習Ⅱ 機械システム工学総合実習 特別研究 知的制御システム
専	准教授	脇元 修一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 機械工作実習Ⅱ 基本機械システム製図 技術表現法 機械システム工学総合実習 特別研究 ロボット機構学 メカトロニクス応用 移動ロボット学
専	准教授	亀川 哲志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理学基礎(力学) 機械工作実習Ⅱ 機械システム工学セミナーⅠ 機械システム工学セミナーⅡ 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅰ
専	准教授	木本 和志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 構造力学Ⅰ及び演習※ 構造力学Ⅱ※ 特別研究 工業数学Ⅱ※
専	准教授	藤井 隆史 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 特別研究 CAD及びIoT技術※ コンクリート構造設計学Ⅰ及び演習※ コンクリート構造設計学Ⅱ※ 構造材料学※ 材料試験法及び実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松野 隆幸 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 ベクトル・複素解析 機械工作実習Ⅱ 機械システム工学総合実習 特別研究 知的制御システム
専	准教授	脇元 修一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 機械工作実習Ⅱ 基本機械システム製図 技術表現法 機械システム工学総合実習 特別研究 ロボット機構学 メカトロニクス応用 移動ロボット学
専	准教授	亀川 哲志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理学基礎(力学) 機械工作実習Ⅱ 機械システム工学セミナーⅠ 機械システム工学セミナーⅡ 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅰ
専	准教授	木本 和志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 構造力学Ⅰ及び演習※ 構造力学Ⅱ※ 特別研究 工業数学Ⅱ※
専	准教授	藤井 隆史 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 特別研究 CAD及びIoT技術※ コンクリート構造設計学Ⅰ及び演習※ コンクリート構造設計学Ⅱ※ 構造材料学※ 材料試験法及び実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉田 圭介 <令和3年4月> 博士(工学)
		水理学及び演習※ 特別研究 工業数学Ⅰ※ 水理設計学及び演習※ 水理計測法及び実験 河川環境学※
専	准教授	赤穂 良輔 <令和3年4月> 博士(工学)
		微分方程式 水理学及び演習※ 特別研究 工業数学Ⅱ※ 数値解析及び演習※ 水理設計学及び演習※ 水理計測法及び実験 河川環境学※
専	准教授	齋藤 光代 <令和3年4月> 博士(学術)
		特別研究 地下水工学※ 環境水理学※ 水質学※ 環境衛生学実験※
専	准教授	小松 満 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習 土質力学Ⅰ及び演習※ 特別研究 数値解析及び演習※ 土質試験法及び実験 地下水工学※ 環境水理学※
専	准教授	樋口 輝久 <令和3年4月> 博士(学術)
		測量学Ⅰ及び実習※ 特別研究 景観論 計画学演習※
専	准教授	氏原 岳人 <令和3年4月> 博士(環境学)
		測量学Ⅰ及び実習※ 特別研究 都市・地域計画学 都市解析学 計画学演習※ 都市環境計画学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉田 圭介 <令和3年4月> 博士(工学)
		水理学及び演習※ 特別研究 工業数学Ⅰ※ 水理設計学及び演習※ 水理計測法及び実験 河川環境学※
専	准教授	赤穂 良輔 <令和3年4月> 博士(工学)
		微分方程式 水理学及び演習※ 特別研究 工業数学Ⅱ※ 数値解析及び演習※ 水理設計学及び演習※ 水理計測法及び実験 河川環境学※
専	准教授	齋藤 光代 <令和3年4月> 博士(学術)
		特別研究 地下水工学※ 環境水理学※ 水質学※ 環境衛生学実験※
専	教授	小松 満 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習 土質力学Ⅰ及び演習※ 特別研究 数値解析及び演習※ 土質試験法及び実験 地下水工学※ 環境水理学※
専	准教授	樋口 輝久 <令和3年4月> 博士(学術)
		測量学Ⅰ及び実習※ 特別研究 景観論 計画学演習※
専	准教授	氏原 岳人 <令和3年4月> 博士(環境学)
		測量学Ⅰ及び実習※ 特別研究 都市・地域計画学 都市解析学 計画学演習※ 都市環境計画学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松井 康弘 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 専門英語 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 廃棄物マネジメント
専	准教授	岩田 徹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学安全教育※ 物理学基礎(力学) 環境物理化学※ 環境化学※ 特別研究 工業数学I※ 数値解析及び演習※ 環境衛生学実験※
専	准教授	永禮 英明 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		環境物理化学※ 環境化学※ 特別研究 水質学※ 水道工学 下水道工学 環境衛生学実験※
専	准教授	中田 和義 ＜令和3年4月＞ 博士(水産科学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水生動物学 環境生物学実験※ 環境と生物※
専	准教授	宗村 広昭 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		工学基礎実験実習 プログラミング 水理学及び演習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水利実験 環境気象学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松井 康弘 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 専門英語 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 廃棄物マネジメント
専	准教授	岩田 徹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学安全教育※ 物理学基礎(力学) 環境物理化学※ 環境化学※ 特別研究 工業数学I※ 数値解析及び演習※ 環境衛生学実験※
専	教授	永禮 英明 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		環境物理化学※ 環境化学※ 特別研究 水質学※ 水道工学 下水道工学 環境衛生学実験※
専	教授	中田 和義 ＜令和3年4月＞ 博士(水産科学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水生動物学 環境生物学実験※ 環境と生物※
専	准教授	宗村 広昭 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		工学基礎実験実習 プログラミング 水理学及び演習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水利実験 環境気象学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	工藤 亮治 <令和3年4月> 博士(環境学)
		プログラミング 技術表現法 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水文環境管理学 水利実験
専	准教授	珠玖 隆行 <令和3年4月> 博士(環境学)
		線形代数 工学基礎実験実習 数理・データサイエンス(発展) 構造力学Ⅱ※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境材料学実験
専	准教授	柴田 俊文 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学安全教育※ プログラミング 構造力学Ⅰ及び演習※ 土質力学Ⅱ※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境材料学実験 環境施設管理学
専	准教授	九鬼 康彰 <令和3年4月> 博士(農学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 農村計画学 公共財管理論
専	准教授	植田 浩史 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 電磁気学A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	工藤 亮治 <令和3年4月> 博士(環境学)
		プログラミング 技術表現法 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 水文環境管理学 水利実験
専	准教授	珠玖 隆行 <令和3年4月> 博士(環境学)
		線形代数 工学基礎実験実習 数理・データサイエンス(発展) 構造力学Ⅱ※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境材料学実験
専	准教授	柴田 俊文 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学安全教育※ プログラミング 構造力学Ⅰ及び演習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 環境材料学実験 環境施設管理学
専	教授	九鬼 康彰 <令和3年4月> 博士(農学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 農村計画学 公共財管理論
専	准教授	植田 浩史 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究 電磁気学A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	今井 純 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		特別研究 制御工学A 制御工学B
専	准教授	山下 善文 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 複素解析 電気電子材料学
専	准教授	佐藤 稔 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理学基礎(電磁気学) 特別研究 伝送線路 パルス・デジタル回路 エネルギー・エレクトロニクス 実験A エネルギー・エレクトロニクス 実験B 電力・モータ実験 電力系統工学A 電力系統工学B
専	准教授	藤森 和博 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 ネットワーク工学実験A ネットワーク工学実験B
専	准教授	富里 繁 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 通信工学 モバイル通信
専	准教授	栗林 稔 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		線形代数 特別研究 インターンシップ(NE・E E) 画像工学 コンピュータアーキテクチャ オブジェクト指向プログラミング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	今井 純 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		特別研究 制御工学A 制御工学B
専	准教授	山下 善文 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 複素解析 電気電子材料学
専	准教授	佐藤 稔 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理学基礎(電磁気学) 特別研究 伝送線路 パルス・デジタル回路 エネルギー・エレクトロニクス 実験A エネルギー・エレクトロニクス 実験B 電力・モータ実験 電力系統工学A 電力系統工学B
専	准教授	藤森 和博 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		物理学基礎(電磁気学) 特別研究 ネットワーク工学実験A ネットワーク工学実験B
専	准教授	富里 繁 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 通信工学 モバイル通信
専	准教授	栗林 稔 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		線形代数 特別研究 インターンシップ(NE・E E) 画像工学 コンピュータアーキテクチャ オブジェクト指向プログラミング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	福島 行信 ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		プログラミング 特別研究 UNIXプログラミング
専	准教授	山内 利宏 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学安全教育 特別研究 データ構造とアルゴリズム※ オペレーティングシステム 情報工学実験B(メディア処理)※ 並列分散処理 情報工学実験C(ソフトウェア)※ 情報セキュリティ
専	准教授	乃村 能成 ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		特別研究 システムプログラミング1※ システムプログラミング2※ プログラミング技法 情報ネットワーク論 情報化における職業1※ 情報化における職業2※
専	准教授	後藤 佑介 ＜令和3年4月＞ 博士(情報学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 データ構造とアルゴリズム※ プログラミング演習1※ プログラミング演習2※ システムプログラミング1※ システムプログラミング2※ インターンシップ(情報)
専	准教授	青山 崇洋 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		微分方程式 特別研究 線形代数統論及び演習1 線形代数統論及び演習2 確率モデル論 確率過程論入門 数理モデリング特論A【隔年】 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	福島 行信 ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		プログラミング 特別研究 UNIXプログラミング
専	教授	山内 利宏 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学安全教育 特別研究 データ構造とアルゴリズム※ オペレーティングシステム 情報工学実験B(メディア処理)※ 並列分散処理 情報工学実験C(ソフトウェア)※ 情報セキュリティ
専	准教授	乃村 能成 ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		特別研究 システムプログラミング1※ システムプログラミング2※ プログラミング技法 情報ネットワーク論 情報化における職業1※ 情報化における職業2※
専	准教授	後藤 佑介 ＜令和3年4月＞ 博士(情報学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 データ構造とアルゴリズム※ プログラミング演習1※ プログラミング演習2※ システムプログラミング1※ システムプログラミング2※ インターンシップ(情報)
専	准教授	青山 崇洋 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 線形代数統論及び演習1 線形代数統論及び演習2 確率モデル論 確率過程論入門 数理モデリング特論A【隔年】 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	早坂 太 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 離散数学入門 代数系の基礎 代数系の応用 数理モデリング特論A【隔年】 ※
専	准教授	山本 倫生 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 ベイズ統計基礎※ 最適化理論 多変量データ解析B 機械学習入門※
専	准教授	石岡 文生 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 統計データ解析演習1 統計データ解析演習2 多変量データ解析A 計算統計学A 計算統計学B※ データ管理方法論※
専	准教授	堺 健司 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 電子計測 電磁気学B
専	准教授	狩野 旬 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		物理学基礎(力学) 無機化学1 化学・生命系実験1※ 特別演習 特別研究
専	准教授	寺西 貴志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学基礎※ 無機化学2 特別演習 特別研究 応用化学実験1※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	早坂 太 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 離散数学入門 代数系の基礎 代数系の応用 数理モデリング特論A【隔年】 ※
専	准教授	山本 倫生 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		線形代数 特別研究 ベイズ統計基礎※ 最適化理論 多変量データ解析B 機械学習入門※
専	准教授	石岡 文生 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 統計データ解析演習1 統計データ解析演習2 多変量データ解析A 計算統計学A 計算統計学B※ データ管理方法論※
専	准教授	堺 健司 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 電子計測 電磁気学B
専	准教授	狩野 旬 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		物理学基礎(力学) 化学・生命系実験1※ 特別演習 特別研究
専	准教授	寺西 貴志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学基礎※ 無機化学2 特別演習 特別研究 応用化学実験1※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中曾 浩一 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 化学工学1 特別演習 特別研究 物理化学4
専	准教授	石田 尚之 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理化学1 化学・生命系実験2※ 特別演習 特別研究
専	准教授	内田 哲也 <令和3年4月> 博士(工学)
		機器分析※ 高分子化学1※ 特別演習 特別研究 高分子化学2※ 高分子化学3※ 応用化学実験2※
専	准教授	光藤 耕一 <令和3年4月> 博士(工学)
		有機化学2 特別演習 特別研究 応用化学実験1※
専	准教授	黒星 学 <令和3年4月> 工学博士
		工学安全教育※ 専門英語 化学・生命系実験2※ 機器分析※ 特別演習 特別研究 有機化学3
専	准教授	紅野 安彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別演習 特別研究 無機化学4※ 無機工業化学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中曾 浩一 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 化学工学1 特別演習 特別研究 物理化学4
専	准教授	石田 尚之 <令和3年4月> 博士(工学)
		物理化学1 化学・生命系実験2※ 特別演習 特別研究
専	准教授	内田 哲也 <令和3年4月> 博士(工学)
		機器分析※ 高分子化学1※ 特別演習 特別研究 高分子化学2※ 高分子化学3※ 応用化学実験2※
専	准教授	光藤 耕一 <令和3年4月> 博士(工学)
		有機化学2 特別演習 特別研究 応用化学実験1※
専	准教授	黒星 学 <令和3年4月> 工学博士
		工学安全教育※ 専門英語 化学・生命系実験2※ 機器分析※ 特別演習 特別研究 有機化学3
専	准教授	紅野 安彦 <令和3年4月> 博士(工学)
		化学基礎※ 特別演習 特別研究 無機化学4※ 無機工業化学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西本 俊介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		量子化学※ 特別演習 特別研究 無機化学5※
専	准教授	高口 豊 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 有機化学3 有機工業化学※
専	准教授	山崎 慎一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		高分子化学1※ 特別演習 特別研究 高分子化学2※ 高分子化学3※
専	准教授	島内 寿徳 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 物理化学4 化学工学3
専	准教授	金山 直樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 分析化学※ 特別演習 特別研究 生化学3 細胞工学
専	准教授	吉岡 朋彦 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 化学基礎※ 特別演習 特別研究 工業材料2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西本 俊介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		量子化学※ 特別演習 特別研究 無機化学5※
専	准教授	高口 豊 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 有機化学3 有機工業化学※
専	准教授	山崎 慎一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		高分子化学1※ 特別演習 特別研究 高分子化学2※ 高分子化学3※
専	准教授	島内 寿徳 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 物理化学4 化学工学3
専	准教授	金山 直樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 分析化学※ 特別演習 特別研究 生化学3 細胞工学
専	准教授	吉岡 朋彦 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 化学基礎※ 無機化学1 特別演習 特別研究 工業材料2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 分析化学※ 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 技術表現法※ 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 あやの ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		専門英語 分析化学※ 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 特別演習 特別研究 生命工学実験2※
専	准教授	高石 和人 ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		工学基礎実験実習※ 化学基礎※ 技術表現法※ 特別演習 特別研究 有機化学4
専	准教授	小布施 祈織 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 数値プログラミング1 ベクトル解析(数値) 数値モデリング 非線形現象モデリング データ駆動計算基礎※ データ駆動計算応用※ 数値モデリング特論B【隔年】 ※
専	准教授	堀 裕典 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 インテリア計画 建築計画学及び演習 建築史 建築法規

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習※ 物理化学1 分析化学※ 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 技術表現法※ 特別演習 特別研究
専	准教授	佐藤 あやの ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		専門英語 分析化学※ 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 特別演習 特別研究 生命工学実験2※
専	准教授	高石 和人 ＜令和3年4月＞ 博士(薬学)
		工学基礎実験実習※ 技術表現法※ 特別演習 特別研究 有機化学4
専	准教授	小布施 祈織 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 数値プログラミング1 ベクトル解析(数値) 数値モデリング 非線形現象モデリング データ駆動計算基礎※ データ駆動計算応用※ 数値モデリング特論B【隔年】 ※
専	准教授	堀 裕典 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 インテリア計画 建築計画学及び演習 建築史 建築法規

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	金 乗洙 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		線形代数 土質力学I及び演習※ 特別研究 土質試験法及び実験
専	准教授	川西 淳史 ＜令和4年4月＞ 修士(建築学)
		特別研究 建築設計 建築製図
専	講師	児玉 紘幸 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 物理学基礎(力学) 機械システム工学総合実習 特別研究 創成プロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	金 乗洙 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		線形代数 土質力学I及び演習※ 特別研究 土質試験法及び実験
専	准教授	川西 淳史 ＜令和4年4月＞ 修士(建築学)
		特別研究 建築設計 建築製図
専	准教授	梅谷 和弘 ＜令和3年4月＞ 博士(人間・環境学), 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	芝軒 太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		電子回路 機械システム工学総合実習 特別研究
専	准教授	鈴木 博樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究
専	准教授	関本 敦 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分方程式 特別研究
専	講師	児玉 紘幸 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		微分積分 機械システム工学総合実習 特別研究 創成プロジェクト

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	山田 寛 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究 偏微分方程式
専	講師	中村 幸紀 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 線形代数 システム制御 I 機械システム工学総合実習 特別研究
専	講師	日下 卓也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 情報理論 キャリア形成 コンピュータ数学
専	講師	相田 敏明 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 情報理論 情報工学実験A(ハードウエ ア)※ 論理設計
専	講師	竹内 孔一 ＜令和3年4月＞ 博士(情報処理学)
		専門英語 特別研究 知識工学 パターン認識と学習 言語解析論
専	講師	沖原 巧 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		専門英語 化学・生命系実験1※ 高分子化学1※ 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 特別演習 特別研究 高分子化学2※ 高分子化学3※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	山田 寛 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究 偏微分方程式
専	講師	中村 幸紀 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 線形代数 システム制御 I 機械システム工学総合実習 特別研究
専	講師	日下 卓也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 情報理論 キャリア形成 コンピュータ数学
専	講師	相田 敏明 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別研究 情報理論 情報工学実験A(ハードウエ ア)※ 論理設計
専	准教授	竹内 孔一 ＜令和3年4月＞ 博士(情報処理学)
		専門英語 特別研究 知識工学 パターン認識と学習 言語解析論
専	講師	沖原 巧 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		専門英語 化学・生命系実験1※ 高分子化学1※ 化学・生命系英語1 化学・生命系英語2 特別演習 特別研究 高分子化学2※ 高分子化学3※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	押木 俊之 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		工学基礎実験実習※ 化学・生命系実験1※ 量子化学※ 特別演習 特別研究
専	講師	田嶋 智之 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		化学基礎※ 特別演習 特別研究 有機化学5
専	助教	坪井 和也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験 数値シミュレーション※
専	助教	李 允碩 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	大西 孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 技術表現法 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	大宮 祐也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験
専	助教	坂本 惇司 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	押木 俊之 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		工学基礎実験実習※ 化学・生命系実験1※ 量子化学※ 特別演習 特別研究
専	講師	田嶋 智之 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		化学基礎※ 特別演習 特別研究 有機化学5
専	助教	坪井 和也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験 数値シミュレーション※
専	助教	大西 孝 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 技術表現法 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	大宮 祐也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験
専	助教	坂本 惇司 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	篠永 東吾 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	永井 伊作 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		基本機械システム製図 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※ デジタル回路 システムCAD
専	助教	楊 家家 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験
専	助教	岡野 訓尚 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 電子回路※ 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※
専	助教	戸田 雄一郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 工学安全教育※ フーリエ・ラプラス変換 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※
専	助教	土井 俊央 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		プログラミング 機械工作実習Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	篠永 東吾 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	永井 伊作 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		基本機械システム製図 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※ デジタル回路 システムCAD
専	助教	楊 家家 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験
専	助教	
専	助教	戸田 雄一郎 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 フーリエ・ラプラス変換 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※
専	助教	土井 俊央 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		プログラミング 機械工作実習Ⅰ 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	辻本 久美子 <令和3年4月> 博士(工学)
		測量学Ⅰ及び実習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 土壌環境実験※ 土壌の物質移動学
専	助教	高橋 明子 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	助教	西川 亘 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	助教	樽谷 優弥 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		特別研究
専	助教	侯 亜飛 <令和3年4月> 博士(理学)(中国), 博士(工学)
		特別研究
専	助教	五百旗頭 健吾 <令和3年4月> 博士(学術)
		特別研究 ハードウェアセキュリティ実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	辻本 久美子 <令和3年4月> 博士(工学)
		測量学Ⅰ及び実習※ 特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習 土壌環境実験※ 土壌の物質移動学
専	准教授	高橋 明子 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	助教	西川 亘 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	助教	樽谷 優弥 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		特別研究
専	助教	侯 亜飛 <令和3年4月> 博士(理学)(中国), 博士(工学)
		特別研究
専	助教	五百旗頭 健吾 <令和3年4月> 博士(学術)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 ハードウェアセキュリティ実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 直 ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		特別研究 プログラミング演習1※ プログラミング演習2※ 情報工学実験B(メディア処理)※
専	助教	佐藤 将也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 プログラミング演習1※ プログラミング演習2※ 情報工学実験A(ハードウェア)※ 情報工学実験C(ソフトウェア)※
専	助教	渡邊 誠也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 情報工学実験A(ハードウェア)※ コンパイラ
専	助教	右田 剛史 ＜令和3年4月＞ 博士(情報工学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 情報工学実験B(メディア処理)※
専	助教	笹倉 万里子 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 プログラミング言語※ 情報工学実験C(ソフトウェア)※
専	助教	三野 泰志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 直 ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		特別研究 プログラミング演習1※ プログラミング演習2※ 情報工学実験B(メディア処理)※
専	助教	
専	助教	渡邊 誠也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 情報工学実験A(ハードウェア)※ コンパイラ
専	助教	右田 剛史 ＜令和3年4月＞ 博士(情報工学)
		工学基礎実験実習※ 特別研究 プログラミング演習1※ プログラミング演習2※ 情報工学実験A(ハードウェア)※ 情報工学実験B(メディア処理)※ 情報工学実験C(ソフトウェア)※
専	助教	笹倉 万里子 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究 プログラミング言語※ 情報工学実験C(ソフトウェア)※
専	助教	三野 泰志 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 貴一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験 2 ※
専	助教	今中 洋行 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学基礎※ 化学・生命系実験 2 ※ 特別演習 特別研究 化学工学 4 応用化学実験 1 ※
専	助教	前田 千尋 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験 2 ※
専	助教	溝口 玄樹 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験 1 ※
専	助教	新 史紀 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究
専	助教	森 光一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学・生命系実験 2 ※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 貴一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験 2 ※
専	助教	今中 洋行 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学基礎※ 化学・生命系実験 2 ※ 特別演習 特別研究 化学工学 4 応用化学実験 1 ※
専	助教	前田 千尋 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験 2 ※
専	准教授	溝口 玄樹 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 応用化学実験 1 ※
専	助教	新 史紀 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究
専	助教	森 光一 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		数理・データサイエンス(発展) 化学・生命系実験 2 ※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	早川 徹 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		特別演習 特別研究 生命工学実験2※
専	助教	増田 潤子 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		工学基礎実験実習※ 特別演習 特別研究
専	助教	曲 正樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 生命工学実験1※
専	助教	渡邊 和則 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学・生命系実験2※ 特別演習 特別研究
専	助教	岡田 宣宏 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 生命工学実験1※
専	助教	磯部 和真 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験
専	助教	山口 大介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	早川 徹 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		数理・データサイエンス(発展) 特別演習 特別研究 生命工学実験2※
専	助教	
専	助教	曲 正樹 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別演習 特別研究 生命工学実験1※
専	助教	渡邊 和則 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学・生命系実験2※ 特別演習 特別研究
専	助教	岡田 宣宏 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		特別演習 特別研究 生命工学実験1※
専	助教	磯部 和真 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		機械システム工学総合実習 特別研究 創造工学実験
専	助教	山口 大介 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	三澤 賢明 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		プログラミング 特別研究
専	助教	鈴木 弘朗 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究
専	助教	井上 良太 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究
専	助教	上野 史 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究
専	助教	YUCEL ZEYNEP ＜令和3年4月＞ PhD in Electrical and Electronics Engineering (トルコ)
		特別研究
専	助教	WANG JIN ＜令和3年4月＞ 博士(生物工学)
		特別研究
専	助教	佐藤 英祐 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		化学・生命系実験2※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	三澤 賢明 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		工学基礎実験実習※ プログラミング 特別研究
専	助教	鈴木 弘朗 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究
専	助教	井上 良太 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		特別研究
専	助教	上野 史 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		プログラミング 特別研究
専	准教授	YUCEL ZEYNEP ＜令和3年4月＞ PhD in Electrical and Electronics Engineering(トル コ)
		工学安全教育 特別研究
専	助教	WANG JIN ＜令和3年4月＞ 博士(生物工学)
		特別研究
専	助教	佐藤 英祐 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		化学・生命系実験2※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	近藤 真矢 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別演習 特別研究
専	助教	田中 健人 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	劉 子昂 <令和3年4月> 博士(工学)
		プログラミング 機械システム工学総合実習 特別研究
専	助教	下岡 綜 <令和3年4月> 博士(工学)
		工学基礎実験実習 機械システム工学総合実習 特別研究 システム工学総合Ⅱ
専	助教	石原 将貴 <令和3年4月> 博士(工学)
		特別研究
専	助教	高橋 勝國 <令和3年4月> 博士(人間・環境学)
		工学基礎実験実習※ 特別演習 特別研究
専	助教	勝原 光希 <令和3年4月> 博士(理学)
		特別研究 環境マネジメントコース演習 分野演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	見浪 護 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) ロボットダイナミクス
兼任	教授	村田 厚生 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) 認知工学 知能ロボット運用論
兼任	教授	有菌 育生 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) オペレーションズ・リサーチⅠ オペレーションズ・リサーチⅡ オペレーションズ・リサーチⅢ
兼任	教授	五福 明夫 ＜令和3年4月＞ 工学博士 物理学基礎(電磁気学) 電子回路※ インターフェイス設計学
兼任	教授	前野 詩朗 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) 水理学及び演習※ 水理設計学及び演習※ 水理計測法及び実験 河川環境学※
兼任	教授	竹下 祐二 ＜令和3年4月＞ 学術博士 土質力学Ⅱ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	片岡 卓也 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) 特別演習 特別研究
兼任	教授	見浪 護 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) 線形代数 ロボットダイナミクス
兼任	教授	村田 厚生 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) 認知工学 知能ロボット運用論
兼任	教授	有菌 育生 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) オペレーションズ・リサーチⅠ オペレーションズ・リサーチⅡ オペレーションズ・リサーチⅢ
兼任	教授	五福 明夫 ＜令和3年4月＞ 工学博士 物理学基礎(電磁気学) 電子回路※ インターフェイス設計学
兼任	教授	前野 詩朗 ＜令和3年4月＞ 博士(工学) 水理学及び演習※ 水理設計学及び演習※ 水理計測法及び実験 河川環境学※
兼任	教授	竹下 祐二 ＜令和3年4月＞ 学術博士 土質力学Ⅱ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	栗原 考次 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		データ活用基礎 データ活用実践演習 統計データ解析特論A【隔年】 統計データ解析特論B【隔年】
兼任	教授	村上 昌己 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		数理論理学
兼任	教授	前田 芳男 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		実践コミュニケーション論
兼任	准教授	仁科 勇太 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学・生命系実験1※ 機器分析※ 特別演習 特別研究 有機化学4
兼任	助教	中嶋 佳貴 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		植生管理学 環境生物学実験※
兼任	講師	小橋 浩二 ＜令和3年4月＞ 農学士
		農村整備学
兼任	講師	山本 泰 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		環境と生物※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	栗原 考次 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		データ活用基礎 データ活用実践演習 統計データ解析特論A【隔年】 統計データ解析特論B【隔年】
兼任	教授	村上 昌己 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		数理論理学
兼任	准教授	仁科 勇太 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		化学・生命系実験1※ 機器分析※ 特別演習 特別研究 有機化学4
兼任	助教	中嶋 佳貴 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		植生管理学 環境生物学実験※
兼任	講師	小橋 浩二 ＜令和3年4月＞ 農学士
		農村整備学
兼任	講師	山本 泰 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		環境と生物※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	清水 健一 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		微分積分
兼任	講師	宮川 貴史 ＜令和3年4月＞ 博士(数理学)
		線形代数
兼任	講師	金谷 健一 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		物理学基礎(力学)
兼任	講師	上浦 洋一 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		物理学基礎(電磁気学)
兼任	講師	竹原 淳 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		電力発生工学
兼任	講師	難波 伸次 ＜令和3年4月＞ 工学士
		電気法規・施設管理
兼任	講師	矢野 徹 ＜令和3年4月＞ 工学修士
		電気設計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	清水 健一 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		微分積分
兼任	講師	宮川 貴史 ＜令和3年4月＞ 博士(数理学)
		線形代数 微分方程式
兼任	講師	竹原 淳 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		電力発生工学
兼任	講師	難波 伸次 ＜令和3年4月＞ 工学士
		電気法規・施設管理
兼任	講師	矢野 徹 ＜令和3年4月＞ 工学修士
		電気設計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	立木 秀樹 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		オブジェクト指向言語
兼任	講師	森本 雅治 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		幾何学基礎
兼任	講師	松井 伸之 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		計算機数学
兼任	講師	渡邊 敏正 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		アルゴリズムと計算量
兼任	講師	田中 寛 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		微分積分
兼任	講師	中西 章 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		微分積分
兼任	講師	藤本 宏美 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		線形代数

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	立木 秀樹 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		オブジェクト指向言語
兼任	講師	森本 雅治 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		幾何学基礎
兼任	講師	松井 伸之 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		計算機数学
兼任	講師	渡邊 敏正 ＜令和3年4月＞ 工学博士
		アルゴリズムと計算量
兼任	講師	田中 寛 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		微分積分
兼任	講師	中西 章 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		微分積分
兼任	講師	藤本 宏美 ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		線形代数

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	清原 一吉 <令和3年4月> 理学博士
		線形代数
兼任	講師	奈良 重俊 <令和3年4月> 理学博士
		物理学基礎(力学)
兼任	講師	小椋 清孝 <令和3年4月> 修士(理学)
		微分方程式

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奈良 重俊 <令和3年4月> 理学博士
		物理学基礎(力学)
兼任	講師	小椋 清孝 <令和3年4月> 修士(理学)
		微分方程式
兼任	講師	後藤 和雄 <令和3年4月> 理学博士
		微分積分
兼任	講師	應谷 洋二 <令和3年4月> 学術博士
		線形代数
兼任	講師	原田 勲 <令和3年4月> 工学博士
		物理学基礎(力学)
兼任	講師	Francesco Zanlungo <令和3年4月> 物理学博士
		物理学基礎(力学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 真理子 <令和3年4月> 農学修士
		実践コミュニケーション論
兼任	講師	小谷 明治 <令和3年4月> 高校卒
		測量学Ⅰ及び実習※
兼任	講師	小野里 正明 <令和3年4月> 高校卒
		測量学Ⅱ及び実習※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・新任の専任教員15名を追加（渡邊実教授、三浦智也教授、大林一平教授、梅谷和弘准教授、芝軒太郎准教授、鈴木博樹准教授、関本敦准教授、近藤真矢助教、田中健人助教、劉子昂助教、下岡綜助教、石原将貴助教、高橋勝國助教、勝原光希助教、片岡卓也助教）
- ・専任教員の昇任による職名の変更（准教授→教授：河原伸幸、小松満、永禮英明、中田和義、九鬼康彰、山内利宏、講師→准教授：竹内孔一、助教→准教授：高橋明子、溝口玄樹、YUCEL ZEYNEP）
- ・授業担当教員（専任教員）の追加（山本倫生准教授：線形代数、三澤賢明助教：工学基礎実験実習、YUCEL ZEYNEP准教授・田野哲教授：工学安全教育、上野史助教：プログラミング、太田学教授：数理・データサイエンス（発展）、二見淳一郎准教授：物理化学1、依馬正教授・三浦智也教授：有機化学1）
- ・授業担当教員（専任教員）の交代
 - 工学基礎実験実習：岡野訓尚（辞任）→下岡綜助教、李允碩（辞任）→田中健人助教、藤森和博准教授→五百旗頭健吾助教、増田潤子（辞任）→高橋勝國助教
 - 工学安全教育：戸田雄一郎助教→西竜志教授
 - 物理学基礎（力学）：児玉紘幸講師→塩田忠准教授
 - 化学基礎：小野努教授→後藤邦彰教授、高石和人准教授→紅野安彦准教授、坂倉彰教授→三浦智也教授
 - プログラミング：佐藤治夫准教授→劉子昂助教
 - 数理・データサイエンス（発展）：音誠治教授→早川徹助教、森光一助教
 - 電子回路：岡野訓尚（辞任）→芝軒太郎准教授
 - システム工学総合Ⅱ：岡野訓尚（辞任）→下岡綜助教
 - 土質力学Ⅱ：柴田俊文准教授→西村伸一教授
 - プログラミング演習1、プログラミング演習2、情報工学実験A（ハードウェア）、情報工学実験C（ソフトウェア）：佐藤将也（辞任）→右田剛史助教
 - 無機化学1：狩野旬准教授→吉岡朋彦准教授
- ・兼任・兼任教員の交代（清原一吉→應谷洋二、金谷健一→Francesco Zanlungo、上浦洋一→藤森和博准教授（専任）、前田芳男→鈴木真理子）
- ・兼任教員（見浪護）の授業担当科目の追加
- ・兼任教員を追加（後藤和雄、原田勲、宮川貴史、小谷明治、小野里正明）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
30 名	15 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
59	65	9	43	176	0	67	66	8	44	185	0
(67)	(66)	(8)	(44)	(185)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
68	67	8	44	187	0	68	67	8	44	187	0
[9]	[2]	[Δ1]	[1]	[11]	[0]	[9]	[2]	[Δ1]	[1]	[11]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{187}{176} = \boxed{106.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{185} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	助教	李 允碩	R3.3	必修	工学基礎実験実習	①	R3.3.31付け任期満了のため辞任（3）						
				必修	機械システム工学総合実習	①							
				必修	特別研究	①							
2	助教	岡野 訓尚	R3.3	必修	工学基礎実験実習	①	R3.3.31付け他大学転出のため辞任（3）						
				必修	電子回路	①							
				必修	機械システム工学総合実習	①							
3	助教	佐藤 将也	R3.3	必修	システム工学総合Ⅱ	①	R3.3.31付け他大学転出のため辞任（3）						
				必修	特別研究	①							
				必修	プログラミング演習1	①							
4	助教	増田 潤子	R3.3	必修	プログラミング演習2	①	R3.3.31付け他大学転出のため辞任（3）						
				必修	情報工学実験A（ハードウェア）	①							
				必修	情報工学実験C（ソフトウェア）	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
4	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし。											
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
4	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{176} = 2.27\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし。					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和3年3月31日に辞任した4名の教員が担当する予定であった授業科目は、専任教員が担当するため、学生への履修等への影響は生じない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	学部、学科、系、コースという体系について、SDGsを目指す上で の必要性や学生の学び にどのように利点がある のかをわかりやすく 説明し、学生募集を行 うこと。【助言事項】	工学部は、分野横断的な履 修を可能とすることで Society5.0に関わる領域を 幅広くカバーする教育体制 を特徴としており、そうし た側面からSDGs達成に貢献 できる人材養成を基本コン セプトとしている。この点 の概要を学部案内で広報し ており、高校生への説明会 においても分かりやすいよ うに説明を行っている。	学生募集は、これまでの広 報誌やホームページに加え て、高校生・保護者向けに 説明会を実施するが、遠方 からでも参加しやすいよう オンラインでの説明会を積 極的に活用する。
認 可 時 (令和2年)	Society 5.0 for SDGs は学術的に確立された 理論でないことから、 教材に限られること及 び社会的実践事例の多 様性に十分に留意する 必要がある。学生に適 切な内容の授業が提供 できるよう、シラバス 等の充実を図ること。 【助言事項】	学生便覧の授業要旨におい て、「系入門科目」や 「SDGs科目」、高年次教養 の「系概論科目」と段階を 追ってSociety 5.0 for SDGsについて学ぶカリキュ ラムとなっていることを示 している。また、全ての系 入門科目の初回において、 この度の改組によりSociety 5.0 for SDGs の実践教育を どのように実施していくか 講義を行っている。	「SDGs科目」や「系概論科 目」については、これから 開講することとなっており 、更に数理・データサイ エンス科目も今後開講され る。学生には、分野横断的 に各科目の繋がりについて 意識してもらうよう努め、 専門知識が一専門分野にと どまらない範囲に広げるよ うにする。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、第1学期授業においては、一部授業をオンラインにする授業方法の変更を行った。今後も新型コロナウイルス感染症の状況によっては2学期以降も一部授業をオンラインにすることが見込まれる。なお、岡山大学の全学の取り組みとしてオンライン授業となることで質が低下しないようオンライン教育におけるFD研修を行っている。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教務委員会 ②FD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1回開催（委員全員参加） ②令和3年度5月1日現在においては、開催実績なし。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 系及びコース課程の編成、改善に関する共通事項 2 専門教育科目、教養教育科目の連絡調整に関する事項 3 教育に係る自己点検・評価に関すること 4 非常勤講師の任用・資格審査に関する事項 5 その他必要と認められる事項 <ol style="list-style-type: none"> ② 1 系及びコース課程の改善に関する共通事項 2 教育方法及び教育内容の改善に関する事項 3 教育の点検・評価に基づく改善に関する事項 4 その他必要と認められる事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ピアレビュー（教員相互の授業参観）の実施 ②表彰「ベストティーチャー賞」 ③ベストティーチャー賞受賞者の授業公開 ④教員研修の実施 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1 授業参観者であるレビューワー（3名）の内から責任者を選定しておく。 2 レビューワー（3名）は、ピアレビューを行う授業のシラバスを前もって見ておく。 <p>必要なら、授業担当教員に前もって授業のスタイルと内容のねらいについて口頭で説明を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 ピアレビューを受ける教員の授業1回分を3名が同時に参観し、レビューワー各人が感想や改善事項をピアレビュー実施用紙に記入する。 4 授業後、なるべく早い時期に担当教員を含めてピアレビューの結果についての意見交換を行う。 <p>出された意見などは、その授業を改善するための参考とする。責任者がピアレビュー実施用紙の意見をとりまとめたものがFD委員会において報告される。</p>
--

②工学部における講義等の改善に資するため、工学部の教育に携わる教員（非常勤講師を含む。）から、講義等の効果、学生による授業評価などにおいて特に優れた者にベストティーチャー賞を授与して表彰する。

選考において参考とする項目

- 1 授業評価アンケートの結果
- 2 授業を参観した教職員の講義等の改善に役立つこと
- 3 教員活動評価における教育の領域の内容
- 4 その他特記事項

③工学部における教育の向上に資するため、授業改善の具体的な成功例として、ベストティーチャー賞受賞者の授業公開を行っている。ベストティーチャー賞受賞者に授業公開日を照会し、授業公開日を工学部教員に周知する。

④Society5.0とSDGsに関する教員の理解を深めることや教育効果の振り返り、ブラッシュアップのためのFD研修を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①令和3年度は26名程度のピアレビューを実施予定。
- ②令和3年度を取組に関して実施するため、令和3年度末に選出予定。
- ③令和2年度のベストティーチャー受賞者8名が授業公開を実施する。
- ④4月7日 Society5.0とSDGsに関する教員の理解を深める研修を開催（213名出席）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ピアレビューやベストティーチャー賞受賞者による授業公開はFD委員会において報告されることとなり、次年度に向けた課題・改善点において意見交換を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業科目の開講最終学期に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの集計結果を工学部ホームページにおいて公開

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数)

該当なし

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える令和7年3月以降を予定。
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
・令和3年度大学機関別認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和3年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。